

# Roland

RHYTHM COACH

# RM-2

V-PRACTICE PAD

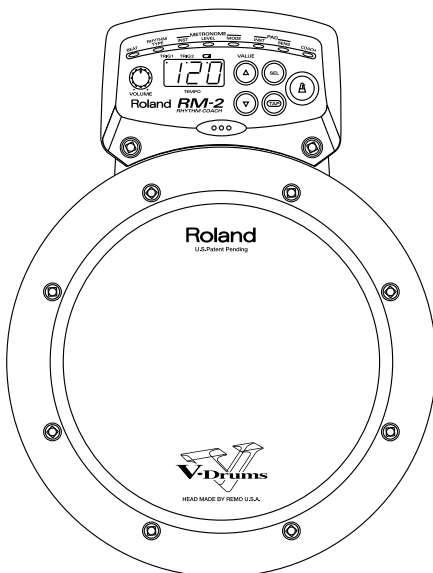
# RP-2

## The Ultimate Practice Companion

# 取扱説明書

この度は、ローランドRM-2、RP-2をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2～3)と「使用上のご注意」(P.4)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。



RP-2 をご使用になる前に、必ずヘッドの張り具合の調整を行ってください。ヘッドの張りがゆるんだ状態でヘッドを叩くと、センサーを破損することがあります。

文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

© 2002 ローランド株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。



02897701

2\*KGS




# 安全上のご注意

## 火災・感電・傷害を防止するには

### △警告と△注意の意味について

 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。  物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

### 図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

### 警告

この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



この機器および AC アダプターを分解したり、改造したりしないでください。



修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



次のような場所での使用や保存はしないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 雨に濡れる場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



この機器の設置には、ローランドが推奨する専用スタンド（PDS-2）を使用してください。



### 警告

この機器の設置に、PDS-2 を使用する場合、くらついた所や傾いた所に PDS-2 を設置しないでください。安定した水平な所に設置してください。機器を単独で設置する場合も、同様に安定した水平な所に設置してください。



ACアダプターは、必ず指定のもの（BOSS PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。



電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。



この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れてください。



## ⚠ 警告

次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。



AC アダプター本体や電源コードが破損したとき  
異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき  
機器が（雨などで）濡れたとき  
機器に異常や故障が生じたとき

お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたすに注意してください。必ず大人のかたが、監視 / 指導してあげてください。



この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



電源は、タコ足配線などの無理な配線をしてください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット / アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。



外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。



電池は、充電、加熱、分解したり、または火や水の中に入れてたりしないでください。



## ⚠ 注意

この機器と AC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。



AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ず AC アダプターの本体やプラグを持ってください。



長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。



接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



## ⚠ 注意

この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。



濡れた手で AC アダプターの本体やプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。



この機器を移動するときは、AC アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。



お手入れをするときには、電源を切って AC アダプターをコンセントから外してください（P.9）。



落雷の恐れがあるときは、早めに AC アダプターをコンセントから外してください。



電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください（P.9）。



電池の + と - を間違えないように、指示どおり入れてください。



新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。



長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。

電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。

使用済みの電池は、あなたの地域のゴミ分別収集のしかたに従って、捨ててください。



チューニング・ボルト、ワッシャー、チューニング・キーを外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。



# 使用上のご注意

2 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

## 電源について

雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。

ACアダプターを長時間使用するとACアダプター本体が多少発熱しますが、故障ではありません。

この機器は消費電流が大きいため、ACアダプターの使用をお薦めします。電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。

電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前にこの機器の電源を切った状態で行なってください。

この機器には、電池が付属されています。この電池は、機器の動作確認用のため、寿命が短い場合があります。

接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

## 設置について

テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。

携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、これらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。

故障の原因になりますので、雨や水に濡れる場所で使用しないでください。

## お手入れについて

通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

## 修理について

お客様がこの機器や AC アダプターを分解（取扱説明書に記載されている指示（P.11）を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。

当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品 保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

## その他の注意について

故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。

ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。

ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。

音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。

本機は、演奏時の打撃音を小さくする設計になっていますが、床や壁を通じた振動は意外によく伝わりますので、特に夜間やヘッドホン使用時の演奏は、隣近所に迷惑がからないように注意しましょう。

輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。

接続には、付属のケーブルもしくは当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。

接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。パッドの感度が悪くなるため、音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

フープのゴム部分は、使っている年月とともに消耗する消耗品です。

消耗したゴム部分をそのまま使用し続けると、誤動作したりフープを破損することがあります。このような場合には、フープ・ゴムを交換してください。なお、フープ・ゴムの交換に関しては、ローランド・サービスにご相談ください。

ヘッド中央部分の下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなくなったり、センサーを破損することがあります。

センサーの素材の性質上、気温、湿度の変化によって、センサーの感度が変わることがあります。

RP-2 をご使用になる前に、必ずヘッドの張り具合の調整を行ってください。ヘッドの張りがゆるんだ状態でヘッドを叩くと、センサーを破損することがあります。

本書では、ディスプレイを使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中のディスプレイ上の設定は一致していません。あらかじめご了承ください。

# 目次

安全上のご注意 .....	2
使用上のご注意 .....	4
目次 .....	5
はじめに .....	6
主な特長 .....	6
このパッケージに入っているもの .....	6
各部の名称と働き .....	7
RHYTHM COACH ( RM-2 ) .....	7
V-PRACTICE PAD ( RP-2 ) .....	8
演奏する前に .....	9
RM-2 の操作方法 .....	13
メトロノームを鳴らす .....	13
たたいたテンポにあわせてメトロノームを鳴らす ( タップ・テンポ ) .....	13
メトロノームの設定を変える .....	13
パラメーター一覧 .....	13
パッドをたたいたときの音色 / 感度を設定する .....	15
RP-2 を 2 台接続する .....	15
パラメーター一覧 .....	16
コーチと練習！ .....	18
パラメーター一覧 .....	18
正確にタイミングよくたたきのための練習 .....	18
持久力と耐久力をつけるための練習 .....	20
製品出荷時の設定に戻す ( ファクトリー・リセット ) .....	22
エラー・メッセージが出たら .....	22
すすんだ使いかた .....	23
RP-2 以外のパッドを接続する .....	23
パッドを接続する .....	23
リム・ショット対応のパッドを接続する .....	24
トリガー・パラメーターの設定方法 .....	26
パラメーター・リスト .....	27
おもな仕様 .....	31
索引 .....	32

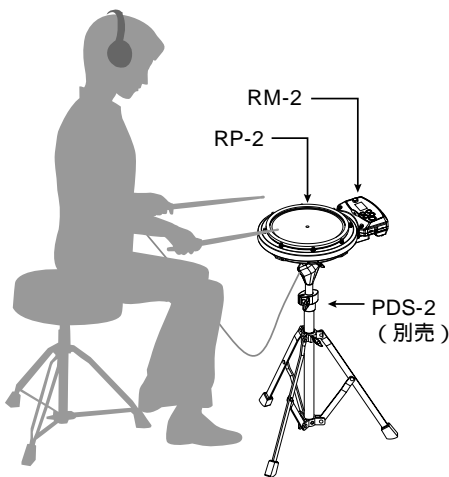
# はじめに

このたびは、ローランド製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書は、RHYTHM COACH (RM-2) および V-PRACTICE PAD (RP-2) 共通の取扱説明書です。RHYTHM COACH (RM-2) のみお買い上げいただいた場合は、該当する箇所だけをお読みください。

## 主な特長

### RHYTHM COACH (RM-2)

- 練習に必須のメトロノームの動きを LED 表示。視覚からも練習をサポートします。
- 厳選された表現力豊かなサウンドを搭載。
- 楽しく効果的に上達する、インテリジェントなコーチ機能を搭載。(P.18)
- 簡単操作、視認性を考えたデザイン、持ち運びに便利なコンパクト・ボディです。
- MD や CD の音とあわせて練習できます。(ミックス・イン)
- V-PRACTICE PAD (RP-2) との併用で、さらに使いかたが広がります。
- 本体からだけでなく、パッドをたたいてテンポを変えることもできます。(タップ・テンポ) (P.13)
- PD-80R / 120 のリム・センサーにも対応し、リム・ショットが可能です。(P.24)
- 2 つのトリガー・インプットを使えば、パッド 2 台をつないだ練習や、KD-7 をつないでキックと合わせた練習も行うことができます。(P.23)
- 長時間の電池駆動のほか、AC アダプター (別売) の使用も可能です。



### V-PRACTICE PAD (RP-2)

- ローランド V-Drums シリーズでおなじみの網素材のヘッドを使用。打感触に優れ、打撃音も静かなため、練習用として最適です。
- ヘッドを好みのテンションに変えられます。
- 高さ / 角度を自由に変えられる専用スタンド (PDS-2) を用意しています (別売)。立っても座っても使用できるので、長時間の練習に最適です。

## このパッケージに入っているもの

RHYTHM COACH (RM-2) 本体  
V-PRACTICE PAD (RP-2) 本体 \*1  
取扱説明書 (本書)  
接続ケーブル \*1  
0.2m (モノラル)

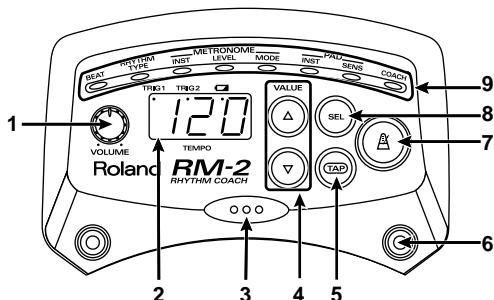
チューニング・キー \*1  
取り付けネジ (2 本) \*2  
単三乾電池 (4 本)  
保証書

\*1 RHYTHM COACH (RM-2) のみお買い上げの場合には含まれません。

\*2 RHYTHM COACH (RM-2) および V-PRACTICE PAD (RP-2) をセットでお買い上げの場合は、最初から取り付けネジで組み立てられた状態になっています。

# 各部の名称と働き

## RHYTHM COACH (RM-2)



### 1. [VOLUME] つまみ

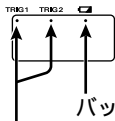
ヘッドホン/アウトプット・ジャックからの出力音量を調節します。

### 2. ディスプレイ

テンポなどを表示します。

また、トリガー・インプット1および2に接続されたパッドをたたくと、対応するトリガー1、2インジケータが点滅します。

電池が消耗してくると、バッテリー・ロー・インジケータが点滅します。(P.9)



バッテリー・ロー・インジケータ

トリガー1、2インジケータ

### 3. ブザー

ヘッドホン/アウトプット・ジャックに何も接続していない場合、ここからメトロノームのピーブ音が鳴ります。パッドの音は鳴りません。

### 4. VALUE [ ] [ ] ボタン

各パラメーターの値を上げたり下げたりします。

[ ] ボタンを押しながら [ ] ボタンを押すと、設定値が高速に増加、[ ] ボタンを押しながら [ ] ボタンを押すと、設定値が高速に減少します。(メトロノームのテンポ表示のときは、スタンダードなメトロノームと同じように、段階的に値が変化します。)

### 5. [TAP] ボタン

ボタンやパッドをたたいた間隔にあわせてメトロノームのテンポを調節します。(P.13)

### 6. RP-2 取り付け用穴

### 7. [メトロノーム] ボタン

メトロノームをスタート/ストップします。

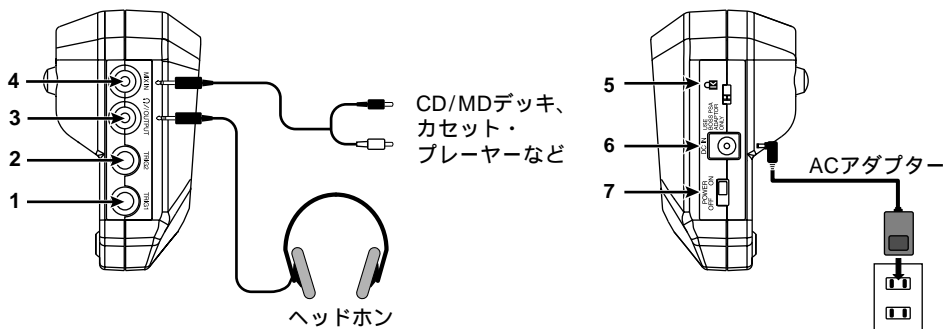
### 8. [SELECT] ボタン

RM-2 上部にある、8つのパラメーターを選択します。[SELECT] ボタンを押すと、BEATから順に COACH まで選択し、一巡して通常のテンポ表示画面に戻ります。[SELECT] ボタンを押しながら [ ] ボタンを押すと、逆方向に選択していきます。

### 9. パラメーター・インジケータ

メトロノームの表示をおこないます。

もしくは、選択されたパラメーターが点滅します。



1. トリガー・インプット 1

2. トリガー・インプット 2

パッドを接続します。



RM-2には、RP-2の他にも、様々なパッドを接続することができます。また、トリガー・インプット 1 と 2 を使って、2 個のパッドを接続することもできます。RP-2 を 2 台接続する場合は「RP-2 を 2 台接続する」(P.15)を、その他のパッドを接続する場合は、「RP-2 以外のパッドを接続する」(P.23)をご覧ください。

3. PHONES / OUTPUT  
(ヘッドホン/アウトプット) ジャック

ヘッドフォンやアンプ、オーディオ・システムを接続します。

RM-2 の出力はモノラルです。

4. MIX IN (ミックス・イン) ジャック

MD や CD の出力をここに接続すれば、音楽とあわせて練習することができます。

5. 盗難防止用ロック ( ) SECURITY LOCK

市販の盗難防止用セキュリティ・ワイヤーなどを接続することができます。盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティ・ワイヤーに対応しています。日本国内総販売代理店は、以下のとおりです。日本ポラデジタル株式会社  
〒104-0032  
東京都中央区八丁堀1丁目5番2号はごろもビル  
Tel: 03-3537-1070、 Fax: 03-3537-1071

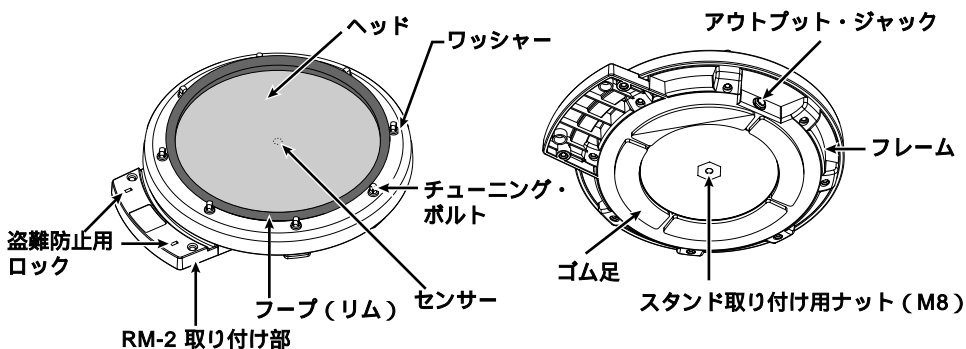
6. AC アダプター・ジャック

AC アダプター (別売) を接続します。(P.9)

7. POWER (パワー)・スイッチ

電源をオン/オフします。(P.10)

## V-PRACTICE PAD (RP-2)





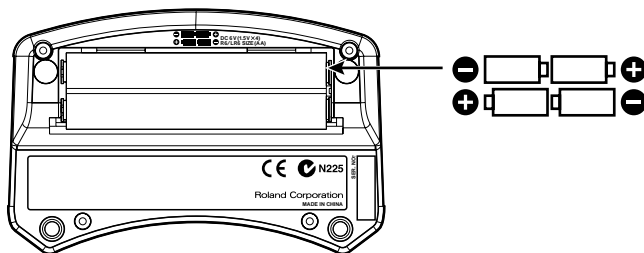
# 演奏する前に



- 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。
- 本体を裏返す際は、ボタン、つまみなどを破損しないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。また、その際、ボタン、つまみなどが破損しないような位置に配置してください。
- 本体を裏返す際は、落下や転倒を引き起こさないよう取扱いにご注意ください。

## 電池を入れる

付属の電池を +、- の向きに注意して入れます。



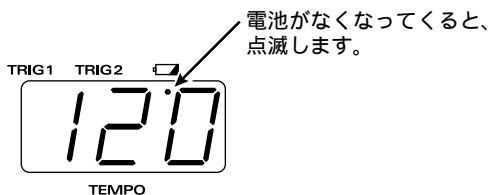
電池交換の際は、単三アルカリ電池（４本）を使用してください。また、電池は新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。



アルカリ電池を使用したときの連続使用時間は、常温で約 10 時間です。（ただし使用状況などにより異なります。）

## 電池の交換時期

電池が消耗してくるとバッテリー・ロー・インジケーターが点滅を始めます。電池が少なくなると、音質が劣化したり、動作が不安定になることがあります。早目に電池の交換をしてください。



## AC アダプターをつなぐ

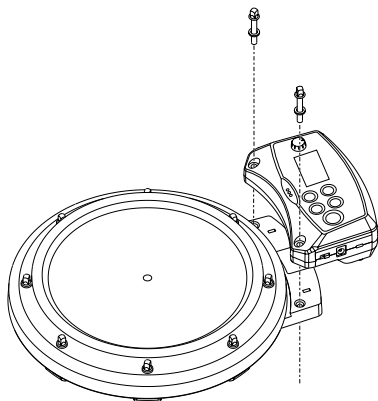
別売りの AC アダプター（BOSS PSA-100）を使用すれば、家庭用のコンセントから電源を供給することができます。



必ず、BOSS PSA-100 を使用してください。他の AC アダプターの使用は、誤動作や故障の原因となりますので、絶対におやめください。

## 音源にパッドを取り付ける

1. 付属のネジを使用して、音源（RM-2）とパッド（RP-2）を以下のように取り付けます。



RM-2 および RP-2 をセットでお買い上げの場合は、最初から音源とパッドが接続された状態になっています。

2. 付属のケーブルを、RP-2 のアウトプット・ジャックと RM-2 のトリガー・インプット 1 にさし込みます。

パッドをたたくと、演奏対象となるパッドを表示するトリガー 1 インジケーターが点滅します。



抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、接続した機器の音量が小さくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

3. RP-2 を 2 台接続する場合は、RP-2 のアウトプット・ジャックと RM-2 のトリガー・インプット 2 にさし込みます。（P.15）

パッドをたたくと、演奏対象となるパッドを表示するトリガー 2 インジケーターが点滅します。

## 電源を入れる / 切る



- 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。
- 必ず、電源を入れてからヘッドフォンを接続してください。手順を間違えると、誤動作をしたりヘッドフォンなどが破損する恐れがあります。
- 音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っても、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. [ VOLUME ] つまみを左いっぱいに回しきって、音量を最小にします。
2. 接続しているアンプやオーディオ・システムがあれば、音量を最小にします。
3. [ POWER ] スイッチを ON にして、電源を入れます。
4. ヘッドフォンやアンプを接続します。
5. 接続しているアンプやオーディオ・システムがあれば、電源を入れます。
6. パッドをたたいて音を聞きながら、[ VOLUME ] つまみを徐々に回して、音量を調節します。アンプやオーディオ・システムを接続している場合は、先に音量を適当な大きさに調節します。

電源を切るときは、以下の手順で行ってください。

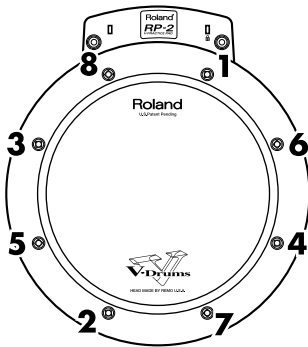
1. RM-2、および接続している外部機器の音量を最小にします。
2. 外部機器の電源を切ります。
3. RM-2 の [ POWER ] スイッチを OFF にして、電源を切ります。

## ヘッドの張り具合を調整する

調整するときは、付属のチューニング・キーをお使いください。

ヘッドの張りがゆるんだ状態でヘッドを叩くと、センサーやヘッドを破損することがあります。また、うまく調整ができていない状態でご使用になりますと、以下の症状がでます。

- 演奏時に音が出ないことがある（音量にムラがある）。
- 音が小さい（感度が低い）。



打感触を確かめながら、チューニング・ボルトを 8 ケ所すべて、チューニング・キーで適切な張り具合に調整してください。チューニング・ボルトは、必ず上の図の番号順にしめてください。



- 張り具合は、アコースティック・ドラムの打感触とほぼ同じくらいが適切です。
- パッドを長く使っていると、ヘッドの張り具合が変わってくる場合があります。必要に応じて調整しなおしてください。
- RP-2 のヘッドの張り具合の調整は、打感触の調整を行うもので、アコースティック・ドラムのように、音の高さ（ピッチ）を調整するものではありません。



1 ケ所のチューニング・ボルトを一度に強くしめないでください。ヘッドを均一に張ることができないため、誤動作の原因となります。

## ヘッドを交換する

ヘッドは、使っている年月とともに性能が劣化する消耗部品です。ヘッド面が破れたり、ヘッドの張り具合を正しく調整しても、ヘッド面にたるみが残るような場合は、ヘッドを交換してください。

### 交換用ヘッド（別売）


MH-8 メッシュ・ヘッド

### ヘッド交換の手順

交換するときには、付属のチューニング・キーをお使いください。

1. すべてのチューニング・ボルトとワッシャーを取り外します。

それぞれ順に少しずつ反時計方向に回してゆるめてください。

 取り外したチューニング・ボルトやワッシャーをなくさないようご注意ください。

2. フープを取り外します。
3. 古いヘッドを取り外します。
4. 新しいヘッドをフレームの上ののせます。
5. ヘッドの上にフープをのせます。
6. チューニング・ボルトにワッシャーを通し、フープをフレームに取り付けます。
7. チューニング・ボルトを8ヶ所すべて、フープに軽くあたるまでしめ付けます。
8. 次にヘッドの張り具合を調整します。「ヘッドの張り具合を調整する」(P.11)をご覧ください。

# RM-2 の操作方法

## メトロノームを鳴らす

メトロノームを鳴らすには、[メトロノーム] ボタンを押します。  
[ ] / [ ] ボタンを押してテンポを調節します。調整範囲は 10 ~ 300BPM です。

### たたいたテンポにあわせてメトロノームを鳴らす (タップ・テンポ)

曲に合わせてボタンを押したり、パッドを叩いたりして、メトロノームのテンポを設定することができます。

1. [TAP] ボタンを押します。  
ディスプレイのテンポの値が点滅します。
2. 曲にあわせて [TAP] ボタンを押すか、または接続されたパッドを複数回叩きます。  
メトロノームと同じ音が鳴ります。  
ボタンを押した、またはパッドをたたいた間隔で、メトロノームのテンポが調節されます。
3. ちょうどよいテンポになったら、[TAP] ボタンを 2 秒程度押し続けるか、または [SELECT] ボタンか [メトロノーム] ボタンを押して値を確定します。[メトロノーム] ボタンを押すと、メトロノームがスタートします。



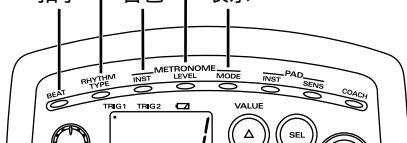
あらかじめメトロノームを鳴らした状態で行うと、テンポの変化を確認しながら調整することができます。

### メトロノームの設定を変える

メトロノームの拍子、リズム・タイプ、音色、音量、表示を変えることができます。

リズム・タイプ      音量

拍子      音色      表示



1. [SELECT] ボタンを押して、変更するパラメーターを選択します。



[SELECT] ボタンを押しながら [ ] ボタンを押すと、逆方向に選択していきます。

2. [ ] / [ ] ボタンを押して、各パラメーターの値や種類を設定します。  
個々のパラメーターについて、詳しくは次のパラメーター一覧をご覧ください。
3. [SELECT] ボタンを何度か押して「COACH」まで選択すると、次に通常のテンポ表示画面に戻ります。



[SELECT] ボタンを 2 秒程度押し続けて、通常のテンポ表示に戻ることもできます。

### パラメーター一覧

#### BEAT (拍子)

メトロノームの拍子を変更します。

0 ~ 13、2-3、3-2、3-4、4-3

## RHYTHM TYPE (リズム・タイプ)

メトロノームのリズム・タイプを変更します。

1	小節の頭で鳴ります。	16	 (16分音符)
2	 (2分音符)	16 <sup>o</sup>	 (16分音符)
4	 (4分音符)	16 <sub>o</sub>	 (16分音符)
8	 (8分音符)	6	 (6連符)
8 <sub>o</sub>	 (8分音符)	c32	3-2 ソン・クラベ
3	 (3連符)	c23	2-3 ソン・クラベ
		r32	3-2 ルンバ・クラベ
3 <sub>o</sub>	 (3連符)	r32	3-2 ルンバ・クラベ
		r23	2-3 ルンバ・クラベ

## METRONOME INST (メトロノームの音色)

メトロノームの音色を変更します。

### ヘッドフォン/アウトプット・ジャック使用時の音色一覧

	音色名	説明
1	トラディショナル・メトロノーム	スタンダードな振り子式メトロノーム。
2	エレクトリック・ピープ	電子ピープ音
3	シンプル・エレクトリック	シンプルな電子メトロノーム。
4	ユニーク・スウィープ	生ドラムの練習など大音量の中でも聞き取りやすい電子音。
5	ザップ	長時間の練習に最適な電子音。
6	ハイ・ハット	リズム・タイプを 8 分音符、3 連符、16 分音符などにセットすれば、キックとスネアのコンビネーション練習に使用できます。
7	カウベル	音の余韻が長く、テンポの遅い曲にも対応。
8	シェイカー	リズム・タイプを 8 分音符、16 分音符にセットすると最適。
9	クラベス	リズム・タイプをクラベにセットし、マンボ、サルサなどの練習に使用。
10	スティック	自然で明瞭なスティック音。
11	ボイス	変拍子や混合拍子の練習に最適。

テンポを速く設定した場合、メトロノームの音が途切れて聞こえることがあります。

ヘッドフォン/アウトプット・ジャックを使用しない時は、プザーからピープ音が鳴ります。1～7までのピープ音を選択することができます。

## METRONOME LEVEL (メトロノームの音量)

メトロノーム音の大きさを調節します。

off、1 ~ 8

off、1 ~ 2 (ヘッドフォン/アウトプット・ジャックを使用しない時のピーブ音の大きさを調節します。)

## METRONOME MODE (表示)

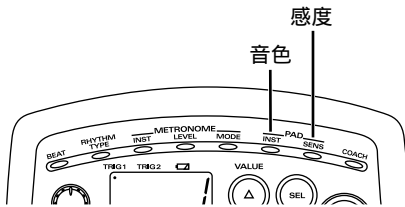
メトロノームの表示が変わります。

off、1 ~ 7

# パッドをたたいたときの音色 / 感度を設定する

RM-2 には、表現力豊かなドラム音色が 28 種類搭載されています。

また、パッドをたたいたときの感度も細かく調整できるため、好みの打感触を得ることができます。



1. [ SELECT ] ボタンを押して、変更するパラメーターを選択します。

**メモ** [ SELECT ] ボタンを押しながら [ ] ボタンを押すと、逆方向に選択していきます。

2. [ ] / [ ] ボタンを押して、「PAD INST」、「PAD SENS」の値や種類を設定します。  
個々のパラメーターについて、詳しくは次の**パラメーター一覧**をご覧ください。
3. [ SELECT ] ボタンを何度か押して「COACH」まで選択すると、次に通常のテンゴ表示画面に戻ります。

**メモ** [ SELECT ] ボタンを 2 秒程度押し続けて、通常のテンゴ表示に戻ることもできます。

## RP-2 を 2 台接続する

トリガー・インプット 1 および 2 に RP-2 を 2 台接続した場合、それぞれのパッドに異なる音色を設定することができます。

1. [ SELECT ] ボタンで、「PAD INST」を選択します。
2. トリガー・インプット 1 に接続したパッドをたたきます。  
設定対象となるパッドを表示する**トリガー 1 インジケーター**が点滅します。
3. [ ] / [ ] ボタンを押して、「PAD INST」を選択します。
4. 同様に、「PAD SENS」を変更します。
5. トリガー・インプット 2 に接続したパッドを叩きます。  
設定対象となるパッドを表示する**トリガー 2 インジケーター**が点滅します。
6. 同様に「PAD INST」、「PAD SENS」を変更します。

## パラメーター一覧

### PAD INST (パッドの音色)

パッドをたたいたときの音色を選択します。

	音色名	説明
1	メイプル・スネア (14"x6-1/2")	
2	スチール・スネア (14"x5-1/2")	
3	ブラス・スネア (14"x5-1/2") *1	
4	ブラス・スネア・リム (14"x5-1/2") *1	弱打時に3番の音色、強打時にリム・ショットが鳴ります。
5	メイプル・ピッコロ・スネア (14"x3-1/2") *2	
6	メイプル・ピッコロ・スネア・リム (14"x3-1/2") *2	弱打時に5番の音色、強打時にリム・ショットが鳴ります。
7	ブラス・ピッコロ・スネア (14"x3-1/2")	
8	13インチ・スネア	
9	ディーブ・シェル・スネア	
10	マーチング・スネア *3	
11	マーチング・スネア・リム *3	弱打時にサイド・スティック、強打時にリム・ショットが鳴ります。
12	マーチング・テナー・ドラム	
13	ハイ・タム・タム (10")	
14	ミッド・タム・タム (12")	
15	ロー・タム・タム (14")	
16	マーチング・クワッド・タム 1 (8")	
17	マーチング・クワッド・タム 2 (10")	
18	マーチング・クワッド・タム 3 (12")	
19	マーチング・クワッド・タム 4 (13")	
20	バス・ドラム (22")	
21	マーチング・バス・ドラム 1 (18")	
22	マーチング・バス・ドラム 2 (24")	
23	ティンパレス・ハイ (リム・ショット)	
24	ティンパレス・ロー	
25	カウベル	弱打時にミュート、強打時にオープン・ショットが鳴ります。
26	クラベス	
27	ブラクティス・ボード 1	スティック・ワークの強化に最適な、粒立ちのハッキリとした練習用音色。
28	ブラクティス・ボード 2	強打時に音が変化し、アクセントの練習に最適な音色。

\*1、\*2、\*3：

リム・ショット対応パッド (PD-80R/120) 使用時に、同じ注意番号のついた音色 (3 と 4、5 と 6、10 と 11) を一組として割り当てて使用します。詳しくは「**リム・ショット対応のパッドを接続する**」(P.24) をご覧ください。リム・ショットに対応していないパッドでは、最適な効果を得られません。



## PAD SENS (パッドの感度)

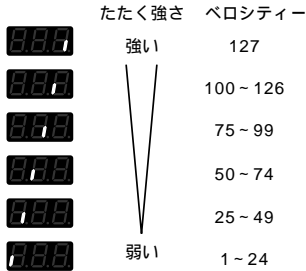
1 ~ 16

パッドの感度を調節し、たたき強さと音の大きさのバランスを調節します。値を大きくすると感度が高くなり、パッドを弱くたたいても大きな音量でなります。



パッドをたたき強さ（ペロシティー）に応じて、ディスプレイに 6 段階でペロシティーが表示されます。

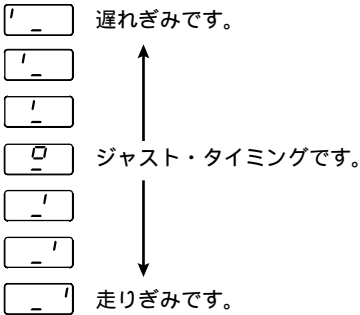
設定の目安は、最も強くたたいたときにペロシティー 127 になるように値を設定します。





## Time Check ( *tch* )

メトロノームの刻むビートに従って、正確にタイミングよくたたく練習をするためのモードです。パッドをたたいたタイミングが、メトロノームに合っているかどうか、結果がディスプレイに表示されます。



1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「*tch*」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押すと、練習開始です。

**メモ** [ ] / [ ] ボタンを押すと、練習中でもテンポを変えることができます。

## Quiet Count ( *qct* )

このモードは、身体でリズムを覚えるためのモードです。最初の 8 小節は設定された音量でメトロノームが鳴りますが、次の 8 小節は音が小さくなります。メトロノーム・ボタンを押して停止させるまで、この 8 小節間隔のサイクルが続きます。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「*qct*」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押すと、練習開始です。

**メモ** [ ] / [ ] ボタンを押すと、練習中でもテンポを変えることができます。

## Speed Check ( *spd* )

メトロノームの音に従って正確にたたく、という点では、Time Check と大変似たモードです。Speed Check では、8 小節の間、メトロノームのタイミング通りに正確に演奏することができたら、さらにテンポが 5 BPM 速くなります。テンポが最大値になるまで続きます。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「*spd*」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押すと、2 小節のカウント・インの後、スピード・チェックの開始です。

**メモ** 正確に演奏できると、ディスプレイの表示が 4 回点滅し、さらに 5 BPM 速くなります。できなかった場合、1 回点滅し次の 8 小節も同じスピードを繰り返します。

## 持久力と耐久力をつけるための練習

### Gradual Up ( $\square \uparrow$ )

徐々にスピードを上げていく練習に最適です。メトロノームが最大値になるまで、2 拍ごとに 1 BPM ずつスピードが速くなっていきます。最大値に達すると、スタート時のテンポに戻り、その後同じ動作を繰り返します。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「  $\square \uparrow$  」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。



演奏中に [ ] を押すと、そのときのテンポでメトロノームの最大値が設定されます。[ ] ボタンを押すと、その設定がリセットされます (初期値は 300 です)。

### Gradual Down ( $\square \downarrow$ )

徐々にスピードを落としていく練習に最適です。メトロノームが最小値になるまで、2 拍ごとに 1 BPM ずつスピードが遅くなっていきます。最小値に達すると、スタート時のテンポに戻り、その後同じ動作を繰り返します。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「  $\square \downarrow$  」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。



演奏中に [ ] を押すと、そのときのテンポでメトロノームの最小値が設定されます。[ ] ボタンを押すと、その設定がリセットされます (初期値は 10 です)。

### Gradual Up/Down ( $\square \updownarrow$ )

「Gradual Up/Down」モードは、スピードを徐々に上げ下げすることによって、持久力を高める練習に最適です。メトロノームが最大値になるまで、2 拍ごとに 1 BPM ずつスピードが速くなっていき、その後、2 拍ごとに 1 BPM ずつスピードが遅くなって最初のテンポに戻ります。その後、同じ動作を繰り返します。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「  $\square \updownarrow$  」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。



演奏中に [ ] を押すと、そのときのテンポでメトロノームの最大値が設定されます。[ ] ボタンを押すと、その設定がリセットされます (初期値は 300 です)。

### Step Up ( $\square \uparrow$ )

スピードの調整能力と同時に、耐久力を鍛えるためのモードです。メトロノームが最大値になるまで、8 小節ごとに 5 BPM ずつスピードが速くなっていきます。最大値に達すると、スタート時のテンポに戻り、その後同じ動作を繰り返します。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「  $\square \uparrow$  」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。



演奏中に [ ] を押すと、そのときのテンポでメトロノームの最大値が設定されます。[ ] ボタンを押すと、その設定がリセットされます (初期値は 300 です)。

## Step Down ( S d )

速いペースから始めて、徐々にスピードを落としていくため、持久力を鍛える練習に最適です。メトロノームが最小値になるまで、8小節ごとに5BPMずつスピードが遅くなっていきます。最小値に達すると、スタート時のテンポに戻り、その後同じ動作を繰り返します。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「 S d 」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。



演奏中に [ ] を押すと、そのときのテンポでメトロノームの最小値が設定されます。[ ] ボタンを押すと、その設定がリセットされます(初期値は10です)。

## Step Up/Down ( S u d )

スピードを段階的に上げ下げすることによって、演奏の持久力を高めます。メトロノームが最大値になるまで、8小節ごとに5BPMずつスピードが速くなっていき、その後、8小節ごとに5BPMずつスピードが遅くなって最初のテンポに戻ります。その後、同じ動作を繰り返します。

1. コーチ・モードで [ ] / [ ] ボタンを押して、「 S u d 」を選択します。
2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。



演奏中に [ ] を押すと、そのときのテンポでメトロノームの最大値が設定されます。[ ] ボタンを押すと、その設定がリセットされます(初期値は300です)。

## Timer ( t 1 ~ t 6 0 )

「Timer」は、演奏期間を決めておくためのシンプルなモードですが、設定時間を変えることにより、様々な練習に利用することが可能です。例えば、短い時間に設定すれば、その間にどれだけ速く演奏できるかチャレンジすることができますし、長い時間に設定すれば、持久力、持久力を高めるのに利用できます。

1. [ ] / [ ] ボタンを押して、t1 ~ t60 までの値を選びます。

タイマー設定時間

t 1 : 1分	t 10 : 10分
t 2 : 2分	t 15 : 15分
t 3 : 3分	t 30 : 30分
t 5 : 5分	t 60 : 60分


2. [メトロノーム] ボタンを押して、練習を開始します。
3. 残り時間が表示され、1分を切ると、60秒のカウント・ダウンが表示されます。設定した時間が終了すると、アラームが鳴り、すべてのパラメーター・インジケーターが点滅します。



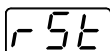
- ・ 「Timer」動作中は、他のコーチ・モードは使用できません。
- ・ 「Timer」動作中も、[SELECT] ボタンで、「BEAT」(拍子)や「RHYTHM TYPE」(リズム・タイプ)などを変更することができます。
- ・ コーチ・モード以外でメトロノームを停止させても、タイマーは引き続き動作を続けます。コーチ・モード以外のときにメトロノームを停止させると、「COACH」のインジケーターが点滅して、タイマーが動作中であることを表示します。タイマーを停止するためには、コーチ・モードで [METRONOME] ボタンを押します。

## 製品出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

RM-2 に記憶されている設定内容を、製品出荷時の設定に戻します。

 お客さまが変更した RM-2 の設定内容はすべて失われます。ファクトリー・リセットを行う場合は、十分にご注意ください。

1. [ ] [SELECT] [メトロノーム] ボタンを同時に押しながら電源を入れます。  
「COACH」のインジケーターが点滅して、ディスプレイに以下のように表示されます。

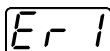


2. [メトロノーム] ボタンを押すと、ファクトリー・リセットを実行します。  
ファクトリー・リセットを中止する場合は、電源を切ってください。

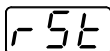
## エラー・メッセージが出たら

ここでは、RM-2 が出すエラー・メッセージの意味と、その対処方法について説明します。


**症状1：** RM-2 のすべてのパラメーター・インジケーターが点滅し、以下が表示された場合、本体の内部メモリーが壊れている可能性があります。



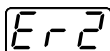
1. [メトロノーム] ボタンを押すと、以下が表示され、ファクトリー・リセットを行える状態になります。



2. 再度 [メトロノーム] ボタンを押して、ファクトリー・リセットを行ってください。  
それでも治らないときは、お買い上げ店または最寄りのローランド・サービスにお問い合わせください。

 お客さまが変更した RM-2 の設定内容はすべて失われます。

**症状2：** RM-2 のすべてのパラメーター・インジケーターが点滅し、以下が表示された場合、内部システムに異常があります。お買い上げ店または最寄りのローランド・サービスにお問い合わせください。



[メトロノーム] ボタンを押すと、通常のテンゴ表示に戻ります。

# すすんだ使いかた

## RP-2 以外のパッドを接続する

RM-2 には、RP-2 の他にも、ローランド V-Drums シリーズのパッドを接続することができます。トリガー・インプットの設定によって、パッドを 2 台接続したり、リム対応のパッドを 1 台接続することができますが、パッドにはそれぞれ特性があるため、パッドを接続しただけでは、うまく音が鳴りません。パッドを接続したら、まずどんなパッドを接続したか(トリガー・タイプ)を調整する必要があります。これにより、正しくパッドが認識されるようになります。

	トリガー・インプット 1	トリガー・インプット 2
パッド 2 台	ヘッド	ヘッド
リム対応のパッド 1 台	ヘッド/リム	---

リム対応のパッドを接続する場合、トリガー・インプット 2 は無効になります。

### パッドを接続する

#### 対応パッド

RP-2、PD-80/100、PD-5/6/7/9、KD-7/80/120



PD-80R / 120 といった、リム・ショットに対応したパッドを接続する場合は、次項「リム・ショット対応のパッドを接続する」(P.24)をご覧ください。

1. 対応パッドを、トリガー・インプット 1 または 2 に接続します。
2. [ SELECT ] ボタンを押しながら電源を入れます。  
トリガー・パラメーターを設定できる状態になります。
3. [ ] / [ ] ボタンを押して、**インプット・モード**を *H-2* にします。

#### インプット・モードとは？

トリガー・インプットに何を接続しているか設定するモードです。通常のパッドを 1 もしくは 2 台接続する場合は、*H-2* を、リム・ショット対応のパッドを 1 台接続する場合は、*H-1* を選択します。

製品出荷時の状態では、*H-2* が設定されており、RP-2 を 2 台接続できる状態になっています。

4. [ SELECT ] ボタンを押します。

*LYP* と表示された後、**トリガー・タイプ**が選択できるようになります。

接続したパッドにあわせて、*RP2* (RP-2)、*PD0* (PD-80/100)、*PD* (PD-5/6/7/9)、*ED* (KD-7/80/120) を選んでください。

パッドをたたくと、設定対象となるパッドを表示する**トリガー 1、2 インジケーター**が点滅します。設定したいパッドが選ばれているかどうか、インジケーターで確認してから、トリガー・パラメーターを設定してください。



ボタンの操作方法について詳しくは、「**トリガー・パラメーターの設定方法**」(P.26)をご覧ください。

### トリガー・タイプとは？

トリガー・タイプは、様々なトリガーのパラメーターを、各パッドに適した値に調整し、ひとまとめにしたものです。接続したパッドにあったトリガー・タイプを選択すれば、各パラメーターが最適な値に設定され、問題なく演奏ができるようになります。適切なトリガー・タイプを選んだにも関わらず、うまく演奏ができない場合のみ、個々のパラメーターを微調整して、お使いのパッドにあったものにします。

5. 必要であれば、[ SELECT ] ボタンを押して、トリガー・タイプの各パラメーターを微調整します。

 各パラメーターについて、詳しくは、「パラメーター・リスト」をご覧ください。

6. 設定が終了したら、[ METRONOME ] ボタンを押して通常のテンゴ表示画面に戻ります。
7. パッドの音色と感度を設定します。


「パッドをたたいたときの音色 / 感度を設定する」の「RP-2 を 2 台接続する」(P.15) を参考に、パッドの音色と感度を設定します。

RM-2 には、キック・ドラム用音色も内蔵されています。KD-7 / 80 / 120 を接続すると、キック・ドラムとパッドで、手と足のコンビネーションの練習ができます。KD-7 / 80 / 120 を使う場合は、「20 : パス・ドラム (22" )」、「21 : マーチング・パス・ドラム 1 (18" )」、「22 : マーチング・パス・ドラム 2 (24" )」の音色をご利用ください。

## リム・ショット対応のパッドを接続する


### 対応パッド

PD-80R / 120


 PD-7/9 のリム・ショットには対応していません。

1. 対応パッドを、トリガー・インプット 1 に接続します。

**接続するときは、必ずステレオ・ケーブルをご使用ください。**

 リム対応のパッドを接続する場合、ケーブルは必ずトリガー・インプット 1 に接続し、トリガー・インプット 2 には何も接続しないでください。トリガー・インプット 2 にケーブルが接続されていると、RM-2 が正常に動作しなくなります。

2. [ SELECT ] ボタンを押しながら電源を入れます。  
トリガー・パラメーターを設定できる状態になります。
3. [ ] / [ ] ボタンを押して、インプット・モードを H-r にします。


 インプット・モードとは？ (P.23)




---

4. [ SELECT ] ボタンを押します。

LYP と表示された後、トリガー・タイプが選択できるようになります。  
接続したパッドにあわせて、  
PBR (PD-80R) P12 (PD-120)  
を選んでください。

 トリガー・タイプとは？ (P.24)

5. 必要であれば、[ SELECT ] ボタンを押して、トリガー・タイプの各パラメーターを微調整します。


 ・ 各パラメーターについて、詳しくは、「パラメーター・リスト」(P.27)をご覧ください。  
・ ボタンの操作方法について詳しくは、「トリガー・パラメーターの設定方法」(P.26)をご覧ください。

6. [ METRONOME ] ボタンを押して通常のテンポ表示画面に戻ります。

7. ヘッドの音色と感度を設定する場合は、パッドのヘッド部分をたたきます。

トリガー 1 インジケーターが点滅します。


8. ヘッドの「PAD INST」と「PAD SENS」を設定します。

 リムの感度を調整する場合は、手順 5. ~ の方法で「リム・センシティビティ」を調整してください。リムの「PAD SENS」は無効になります。

9. リムの音色を設定する場合は、パッドのリム部分をたたきます。

トリガー 2 インジケーターが点滅します。

10. リムの「PAD INST」を設定します。

 PAD INST 番号 4、6、11 が、リム・ショットに最適な音色です。(P.16)

## トリガー・パラメーターの設定方法

### ボタン

- [ SELECT ] ボタン  
パラメーターを選択します。(パラメーター名が表示された後、パラメーターの値や種類が表示されます。)
- [ SELECT ] ボタンを押しながら [ ] ボタンを押す  
一つ前のパラメーターに戻ります。
- [ ] / [ ] ボタン  
パラメーターの値を変更します。
- [ METRONOME ] ボタン  
設定を終了し、RM-2 の通常の操作が可能な画面に戻ります。

### 表示

- ディスプレイ  
パラメーター名、パラメーター値を表示します。  
また、スレッシュールド/センシティビティ/ペロシティー・カーブ/スキャン・タイム設定時はパッドをたたくとペロシティー値を表示します。( P.28 )
  - トリガー 1、2 インジケーター  
トリガー・インプット 1、2 につないだパッドをたたいたとき、対応するトリガー・インプットのインジケーターが点滅します。点滅しているトリガー・インプットのパラメーターを変更することができます。
- メモ** インプット・モードが *H-r* のときには表示しません。ただし、リム・センシティビティを調整しているとき、ヘッド・ショットの場合はトリガー 1 が、リム・ショットの場合はトリガー 2 が点灯します。
- RM-2 上部の 8 つのインジケーター  
現在のパラメーターを点滅表示します(インプット・モードおよびトリガー・タイプを除く)。



## パラメーター・リスト

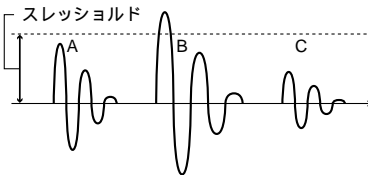
パラメーター	値
インプット・モード (電源投入時)	<i>H-2</i> Headx2 <i>H-r</i> Head&Rim
<i>tYP</i> トリガー・タイプ	<i>rP2</i> RP-2 <i>P80</i> PD-80/100 <i>P8r</i> PD-80R <i>P12</i> PD-120 <i>Pd</i> PD-5/6/7/9 <i>Ed</i> KD-7/80/120
<i>tHr</i> スレッシュヨルド	0 ~ 15
<i>Sns</i> センシティブィティ	1 ~ 16
<i>Cur</i> ベロシティー・カーブ	<i>Lnr</i> 、 <i>EP1</i> 、 <i>EP2</i> 、 <i>LG1</i> 、 <i>LG2</i> 、 <i>SPL</i> 、 <i>Ld1</i> 、 <i>Ld2</i>
<i>Scn</i> スキャン・タイム	0 ~ 4.0ms (0.1ms 刻み)
<i>rEG</i> リトリガー・キャンセル	1 ~ 16
<i>CrS</i> クロストーク・キャンセル	<i>OFF</i> 、20 ~ 80 (5 刻み)
<i>MSH</i> マスク・タイム	0 ~ 64ms (4ms 刻み)
<i>riP</i> リム・センシティブィティ	<i>OFF</i> 、1 ~ 20 (または ---)

リム・センシティブィティは、インプット・モードが *H-r* のときのみ有効です。  
また、トリガー・タイプが *P8r*、*P12* 以外の場合は無効(---)になります。

### スレッシュヨルド

0 - 15

ある一定以上の強さでたたいたときだけトリガー信号を読み込むように設定します。これにより、パッドが周囲の振動を拾うのを防ぐことができます。次の図で、Bの信号は鳴りますがAとCは鳴りません。



大きな値に設定すると弱くたたいたときに音が鳴らなくなります。パッドをたたきながら、スレッシュヨルドの値を徐々に上げていきます。弱めにたたいてチェックし、音が欠けるようであれば少し値を下げます。これを繰り返してちょうどよい設定にします。

### センシティブィティ

1 - 16

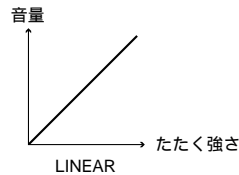
「PAD SENS」と同じ値になります。(P.17)

### ベロシティー・カーブ

たたく強さによる音量の変化のしかたを選びます。

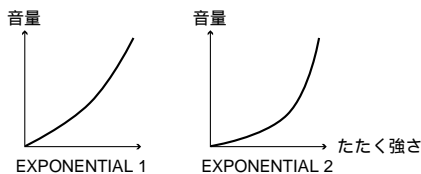
*Lnr* (LINEAR)

最も標準的な設定です。たたく強さと音量の変化が最も自然になります。



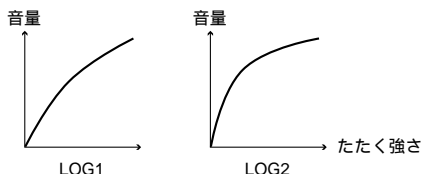
EP1 EP2  
(EXPONENTIAL 1, EXPONENTIAL 2)

LINEAR に比べ、強めにたたくときの音量が大きくなります。



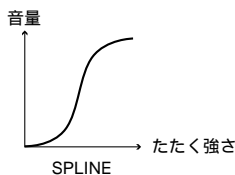
LG1 LG2 (LOG1, LOG2)

LINEAR に比べ、弱めにたたくときの音量が大きくなります。



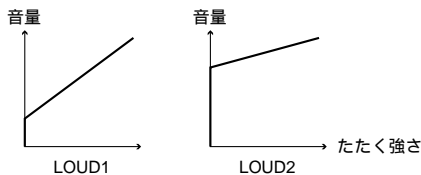
SPL (SPLINE)

たたく強さによる変化が極端に付ききます。



Ld1 Ld2 (LOUD1, LOUD2)

たたく強さによる変化が少なく演奏しやすい音量が保てます。ドラム・トリガーを使用するときなど、安定した発音が得られます。

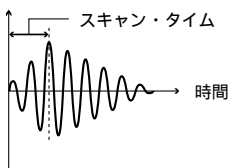


スキャン・タイム

0 - 4.0ms (0.1ms 刻み)

ドラム・パッドの種類やドラム・トリガー固有の性質により、トリガー信号波形の立ち上がり時間が微妙に異なるため、同じ強さでたたいたときでも弱く鳴ったり、強く鳴ったりすることがあります。このような場合に、トリガー信号の検出時間(スキャン・タイム)を調節することで、たたいた強さを正確に検出することができます。

値を大きくすると発音までの時間が長くなります。できるだけ小さい値に設定してください。

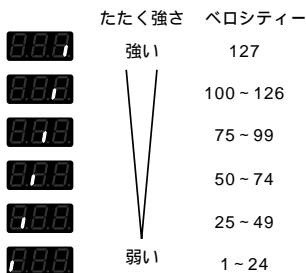


設定のしかた

パッドを同じ強さでたたきながらスキャン・タイムの値を「0」から徐々に上げていき、一番大きな音量で安定して発音する値に設定します。その値で強弱をつけてパッドをたたき、適切な音量変化が得られることも確認してください。

パッドをたたく強さ(ベロシティー)に応じて、ディスプレイに6段階でベロシティーが表示されます。

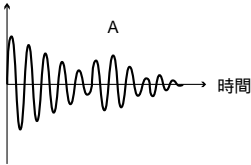
強くたたいたときにベロシティー 127 になるように値を設定します。



## リトリガー・キャンセル

1 - 16

市販のドラム・トリガーを取り付けたスネア・ドラムなどをたたいたときに、波形が乱れているために、次の図のA点でも誤って発音してしまうことがあります（リトリガー）。



この現象は特に波形の消え際で起こりやすいものです。リトリガー・キャンセルは、この波形の乱れを検出して、リトリガーが起こらないようにします。

値を大きくするとリトリガーしなくなりますが、ドラムを速く連打したときに音が抜けやすくなります。リトリガーが起こらないことを確認しながら、できるだけ小さい値に設定してください。

### ヒント

マスク・タイムでもこのような2度鳴りの症状をなくすことができます。マスク・タイムはトリガー信号を受信してから設定した時間内は次のトリガー信号を検出しなくなるのに対して、リトリガー・キャンセルはトリガー信号レベルの減衰を検出し、打撃されたときのトリガー信号が、鳴らす必要のないトリガー信号かを内部で判別してから発音させます。

### 設定のしかた

パッドをたたきながら、リトリガーしなくなるまでリトリガー・キャンセルの値を上げます。

## クロストーク・キャンセル

OFF, 20 - 80 (5 刻み)

同じスタンドに2台のパッドを取り付けている場合などに、一方のパッドをたたいたときの振動で、他方の音が誤って発音してしまうことがあります（クロストーク）。誤って鳴ってしまうパッドのクロストーク・キャンセルを調節すると、この現象を防ぐことができます。

値を大きくしすぎると2つのパッドを同時にたたいたときに弱くたたいた方のパッドの音が鳴らなくなります。設定値は、クロストークが起こらない最小の値にしてください。設定値を「OFF」にすると、クロストークを防ぐ処理を行いません。

### ヒント

取り付けられている2つのパッドの距離を離してセッティングすることにより、クロストークを防ぐことができる場合もあります。

### 注意

他のドラム音源に接続したパッドからのクロストークを防ぐことはできません。距離を離してセッティングしてください。

### 設定のしかた

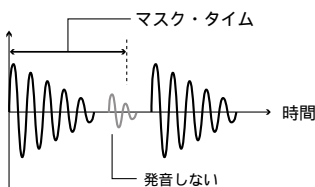
トリガー・インプット1のパッドをたたいたときにトリガー・インプット2のパッドの音が鳴ってしまう：

トリガー・インプット1のパッドをたたきながら、トリガー・インプット2のパッドのクロストーク・キャンセルを設定します。設定値を「OFF」から徐々に上げ、トリガー・インプット1のパッドをたたいてもトリガー・インプット2のパッドが鳴らなくなる値にします。値を上げるほど、トリガー・インプット1からのクロストークを受けにくくなります。

## マスク・タイム

0 - 64ms (4ms 刻み)

特にキック・パッドで、鳴らした直後に再度ピーターが触れると、ダブル・トリガー（1度鳴らすつもりなのに2度鳴ってしまう）の原因になります。マスク・タイムはこれを防ぐための機能で、設定した時間内(0 ~ 64ms)に再度起こったトリガー信号を無視します。値を大きくするとキックを速く連打したときに音が抜けやすくなります。できるだけ小さい値に設定してください。



パッドを1度しかたたいていないのに2度以上音が鳴ってしまうときは、リトリガー・キャンセルを調節してください。

### 設定のしかた

キック用パッドを踏みながら、バウンスング（ピーターの跳ね返りによる発音）しなくなるまで、マスク・タイムの値を上げます。

## リム・センシティビティ

OFF、1 ~ 20

リムの感度を調整できます。値を大きくするとリムが鳴りやすくなります。「OFF」にすると、リム・ショットをしたときにヘッドのインストが鳴ります。値を大きくしすぎると、ヘッドをたたいたときもリム側のインストが鳴ってしまいますのでご注意ください。



インプット・モードが  $H-r$  のときのみ有効です。  
また、トリガー・タイプが  $PBR$ 、 $P12$  以外の場合は無効(---)になります。

# おもな仕様

## RM-2:RHYTHM COACH

### 最大同時発音数

4音(内メトロノーム1音)

### 音色数

パッド・インスト:28

メトロノーム・インスト:11

### パネル・コントロール

音量つまみ:1

機能選択スイッチ:5

電源スイッチ:1

### 接続端子

トリガー・インプット・ジャック×2

(ステレオ標準タイプ×1、標準タイプ×1)

ヘッドホン/アウトプット・ジャック:1

(ステレオ・ミニ・タイプ)

ミックス・イン・ジャック:1(ミニ・タイプ)

ACアダプター・ジャック

### 電源

単3乾電池×4

またはDC9V ACアダプター

連続使用時の電池の寿命(使用状況によって異なります)

アルカリ電池 約10時間

### 消費電流

150mA

### 外形寸法

148(幅)×96(奥行き)×62(高さ)mm

### 質量

340g(電池含む)

240g(電池なし)

## RP-2:V-PRACTICE PAD

### パッドサイズ

8インチ

### トリガー

1(ヘッド)

### 外形寸法

264(幅)×297(奥行き)×60(高さ)mm

### 質量

890g

### スタンド取り付けネジ

M8

## RM-2 and RP-2

### 外形寸法

264(幅)×350(奥行き)×62(高さ)mm

### 質量

1.2kg(電池を含む)

### 付属品

単3アルカリ電池×4

取付け用ネジ×2 1

チューニング・キー 2

接続ケーブル(0.2m) 2

取扱説明書

保証書

### 別売品

ACアダプター(BOSS PSA-100)

パッド(RP-2、PD-80、PD-80R、PD-100、PD-120、PD-5、PD-6、PD-7、PD-9)

キック・トリガー(KD-7、KD-80、KD-120)

パッド・スタンド(PDS-2)

メッシュ・ヘッド(MH-8)

- 1 RHYTHM COACH(RM-2)およびV-PRACTICE PAD(RP-2)をセットでお買い上げの場合は、最初から取り付けネジで組み立てられた状態になっています。
- 2 RHYTHM COACH(RM-2)のみお買い上げの場合には含まれません。

トリガー・インプット1の設定により、PD-80RとPD-120ではリム・ショットが可能となります。ただし、その場合トリガー・インプット2は使用することができません。RM-2は、PD-7、PD-9のヘッド・ショットには対応していますが、リム・ショットには対応していません。

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 索引

A		
ACアダプター・ジャック	.....	8
B		
BEAT	.....	13
E		
EXPONENTIAL 1、2	.....	28
G		
Gradual Down	.....	20
Gradual Up	.....	20
Gradual Up/Down	.....	20
L		
LINEAR	.....	27
LOG1、2	.....	28
LOUD1、2	.....	28
M		
METRONOME INST	.....	14
METRONOME LEVEL	.....	15
METRONOME MODE	.....	15
MIX IN ジャック	.....	8
P		
PAD INST	.....	16
PAD SENS	.....	17
PHONES / OUTPUT ジャック	.....	8
POWER スイッチ	.....	8
Q		
Quiet Count	.....	19
R		
RHYTHM TYPE	.....	14
Rhythmic Notes	.....	18
RM-2 取り付け部	.....	8
RP-2 取り付け用穴	.....	7
S		
SECURITY LOCK	.....	8
SELECT ボタン	.....	7
Speed Check	.....	19
SPLINE	.....	28
Step Down	.....	21
Step Up	.....	20
Step Up/Down	.....	21
T		
TAP ボタン	.....	7
Time Check	.....	19
Timer	.....	21
V		
VALUE	.....	7
VOLUME つまみ	.....	7
あ		
アウトプット・ジャック	.....	8
い		
インプット・モード	.....	23
え		
エラー・メッセージ	.....	22
く		
クロストーク・キャンセル	.....	29
こ		
コーチ	.....	18
ゴム足	.....	8
す		
スキャン・タイム	.....	28
スタンド取り付け用ナット	.....	8
スレッシュホルド	.....	27
せ		
接続 (RP-2 を 2 台接続する)	.....	15
接続 (RP-2 以外のパッド)	.....	23
接続 (リム・ショット対応のパッド)	.....	24
センサー	.....	8
センシティビティ	.....	27
た		
タップ・テンポ	.....	13
ち		
チューニング・ボルト	.....	8
て		
ディスプレイ	.....	7
と		
盗難防止用ロック	.....	8



---

トリガー 1、2 インジケータ	7
トリガー・インプット 1、2	8
トリガー・タイプ	24
トリガー・パラメータ	26

## は

バッテリー・ロー・インジケータ	7
パッドの音色/感度	15 ~ 17
パラメータ・インジケータ	7
パワー・スイッチ	8

## ひ

拍子	13
----	----

## ふ

ファクトリー・リセット	22
フープ	8
ブザー	7
フレーム	8

## へ

ヘッド	8
ヘッドホン/アウトプット・ジャック	8

## ま

マスク・タイム	30
---------	----

## み

ミックスイン・ジャック	8
-------------	---

## め

メトロノーム	13
メトロノームの音色	14
メトロノームの音量	15
メトロノームの表示	15
メトロノーム・ボタン	7

## り

リズム・タイプ	14
リトリガー・キャンセル	29
リム	8
リム・センシティビティ	30

## わ

ワッシャー	8
-------	---

## お問い合わせの窓口

商品のお取り扱いに関するお問い合わせは・・・ ローランドお客様相談センターまでご相談ください。尚、お問い合わせの際には取扱説明書をご用意ください。

### ローランドお客様相談センター

受付時間：午前10時～午後5時（土、日曜、祝日および弊社規定の休日を除く）

<電話番号>

**大阪**

TEL (06) 6345-9500

**東京**

TEL (03) 3251-6150

<住所>

〒530-0004 大阪府北区堂島浜1-4-16 大和堂島ビル7F

修理に関するお問い合わせは・・・ 商品をお求めの販売店が保証書に同封されている「サービスの窓口」に記載の営業所またはサービス・ステーションまでご相談ください。

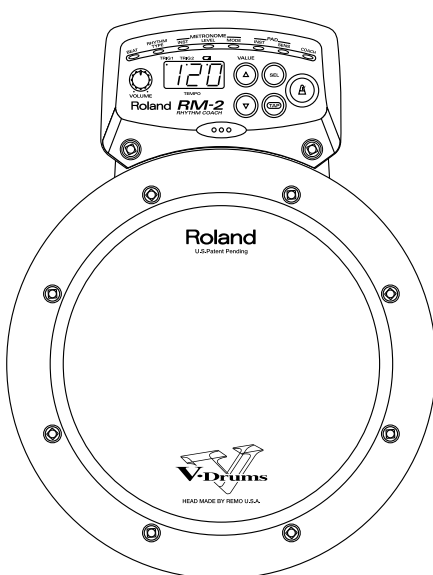
上記窓口の名称、所在地、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

’01.5.1現在

## The Ultimate Practice Companion

# Owner's Manual

Thank you and congratulations on your choice of the Roland RM-2, RP-2. Before using this unit, carefully read the sections entitled: "USING THE UNIT SAFELY" (p. 2-3) and "IMPORTANT NOTES" (p. 4). These sections provide important information concerning the proper operation of the unit. Additionally, in order to feel assured that you have gained a good grasp of every feature provided by your new unit, Owner's manual should be read in its entirety. The manual should be saved and kept on hand as a convenient reference.



**Be sure to adjust the head tension before using the RP-2. Striking the pad with a loose head may damage the sensor and head.**

\* All product names mentioned in this document are trademarks or registered trademarks of their respective owners.



Copyright © 2002 ROLAND CORPORATION

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced in any form without the written permission of ROLAND CORPORATION.







# USING THE UNIT SAFELY

## INSTRUCTIONS FOR THE PREVENTION OF FIRE, ELECTRIC SHOCK, OR INJURY TO PERSONS

About  WARNING and  CAUTION Notices








 <b>WARNING</b>	Used for instructions intended to alert the user to the risk of death or severe injury should the unit be used improperly.
 <b>CAUTION</b>	Used for instructions intended to alert the user to the risk of injury or material damage should the unit be used improperly. * Material damage refers to damage or other adverse effects caused with respect to the home and all its furnishings, as well to domestic animals or pets.

About the Symbols







	The  symbol alerts the user to important instructions or warnings. The specific meaning of the symbol is determined by the design contained within the triangle. In the case of the symbol at left, it is used for general cautions, warnings, or alerts to danger.
	The  symbol alerts the user to items that must never be carried out (are forbidden). The specific thing that must not be done is indicated by the design contained within the circle. In the case of the symbol at left, it means that the unit must never be disassembled.
	The  symbol alerts the user to things that must be carried out. The specific thing that must be done is indicated by the design contained within the circle. In the case of the symbol at left, it means that the power-cord plug must be unplugged from the outlet.

### ALWAYS OBSERVE THE FOLLOWING

#### WARNING

- Before using this unit, make sure to read the instructions below, and the Owner's Manual. 
- Do not open (or modify in any way) the unit or its AC adaptor. 
- Do not attempt to repair the unit, or replace parts within it (except when this manual provides specific instructions directing you to do so). Refer all servicing to your retailer, the nearest Roland Service Center, or an authorized Roland distributor, as listed on the "Information" page. 
- Never use or store the unit in places that are:
  - Subject to temperature extremes (e.g., direct sunlight in an enclosed vehicle, near a heating duct, on top of heat-generating equipment); or are 
  - Damp (e.g., baths, washrooms, on wet floors); or are 
  - Humid; or are
  - Exposed to rain; or are
  - Dusty; or are
  - Subject to high levels of vibration.
- This unit should be used only with the stand that is recommended by Roland (PDS-2). 
- When using the unit with the stand recommended by Roland (PDS-2), the PDS-2 must be carefully placed so it is level and sure to remain stable. If not using a rack or stand, you still need to make sure that any location you choose for placing the unit provides a level surface that will properly support the unit, and keep it from wobbling. 

#### WARNING

- Use only the specified AC adaptor (BOSS PSA series), and make sure the line voltage at the installation matches the input voltage specified on the AC adaptor's body. Other AC adaptors may use a different polarity, or be designed for a different voltage, so their use could result in damage, malfunction, or electric shock.   

- Do not excessively twist or bend the power cord, nor place heavy objects on it. Doing so can damage the cord, producing severed elements and short circuits. Damaged cords are fire and shock hazards! 
- This unit, either alone or in combination with an amplifier and headphones or speakers, may be capable of producing sound levels that could cause permanent hearing loss. Do not operate for a long period of time at a high volume level, or at a level that is uncomfortable. If you experience any hearing loss or ringing in the ears, you should immediately stop using the unit, and consult an audiologist. 
- Do not allow any objects (e.g., flammable material, coins, pins); or liquids of any kind (water, soft drinks, etc.) to penetrate the unit.   


## **WARNING**

- Immediately turn the power off, remove the AC adaptor from the outlet, and request servicing by your retailer, the nearest Roland Service Center, or an authorized Roland distributor, as listed on the "Information" page when:
  - The AC adaptor or the power-supply cord has been damaged; or
  - Objects have fallen into, or liquid has been spilled onto the unit; or
  - The unit has been exposed to rain (or otherwise has become wet); or
  - The unit does not appear to operate normally or exhibits a marked change in performance.



- In households with small children, an adult should provide supervision until the child is capable of following all the rules essential for the safe operation of the unit.



- Protect the unit from strong impact. (Do not drop it!)



- Do not force the unit's power-supply cord to share an outlet with an unreasonable number of other devices. Be especially careful when using extension cords—the total power used by all devices you have connected to the extension cord's outlet must never exceed the power rating (watts/ amperes) for the extension cord. Excessive loads can cause the insulation on the cord to heat up and eventually melt through.



- Before using the unit in a foreign country, consult with your retailer, the nearest Roland Service Center, or an authorized Roland distributor, as listed on the "Information" page.



- Batteries must never be recharged, heated, taken apart, or thrown into fire or water.



## **CAUTION**

- The unit and the AC adaptor should be located so their location or position does not interfere with their proper ventilation.



- Always grasp only the plug or the body of the AC adaptor when plugging into, or unplugging from, an outlet or this unit.



- Whenever the unit is to remain unused for an extended period of time, disconnect the AC adaptor.



## **CAUTION**

- Try to prevent cords and cables from becoming entangled. Also, all cords and cables should be placed so they are out of the reach of children.



- Never climb on top of, nor place heavy objects on the unit.



- Never handle the AC adaptor body, or its plugs, with wet hands when plugging into, or unplugging from, an outlet or this unit.



- Before moving the unit, disconnect the AC adaptor and all cords coming from external devices.



- Before cleaning the unit, turn off the power and unplug the AC adaptor from the outlet (p. 9).



- Whenever you suspect the possibility of lightning in your area, disconnect the AC adaptor from the outlet.



- If used improperly, batteries may explode or leak and cause damage or injury. In the interest of safety, please read and observe the following precautions (p. 9).



- Carefully follow the installation instructions for batteries, and make sure you observe the correct polarity.



- Avoid using new batteries together with used ones. In addition, avoid mixing different types of batteries.



- Remove the batteries whenever the unit is to remain unused for an extended period of time.

- If a battery has leaked, use a soft piece of cloth or paper towel to wipe all remnants of the discharge from the battery compartment. Then install new batteries. To avoid inflammation of the skin, make sure that none of the battery discharge gets onto your hands or skin. Exercise the utmost caution so that none of the discharge gets near your eyes. Immediately rinse the affected area with running water if any of the discharge has entered the eyes.

- Never keep batteries together with metallic objects such as ballpoint pens, necklaces, hairpins, etc.

- Used batteries must be disposed of in compliance with whatever regulations for their safe disposal that may be observed in the region in which you live.



- Should you remove tuning bolts and washers, make sure to put them in a safe place out of children's reach, so there is no chance of them being swallowed accidentally.



# IMPORTANT NOTES

In addition to the items listed under “USING THE UNIT SAFELY” on page 2, please read and observe the following:

## Power Supply

- Do not use this unit on the same power circuit with any device that will generate line noise (such as an electric motor or variable lighting system).
- The AC adaptor will begin to generate heat after long hours of consecutive use. This is normal, and is not a cause for concern.
- The use of an AC adaptor is recommended as the unit's power consumption is relatively high. Should you prefer to use batteries, please use the alkaline type.
- When installing or replacing batteries, always turn off the power on this unit and disconnect any other devices you may have connected. This way, you can prevent malfunction and/or damage to speakers or other devices.
- Batteries are supplied with the unit. The life of these batteries may be limited, however, since their primary purpose was to enable testing.
- Before connecting this unit to other devices, turn off the power to all units. This will help prevent malfunctions and/or damage to speakers or other devices.

## Placement

- This device may interfere with radio and television reception. Do not use this device in the vicinity of such receivers.
- Noise may be produced if wireless communications devices, such as cell phones, are operated in the vicinity of this unit. Such noise could occur when receiving or initiating a call, or while conversing. Should you experience such problems, you should relocate such wireless devices so they are at a greater distance from this unit, or switch them off.
- Do not expose the unit to direct sunlight, place it near devices that radiate heat, leave it inside an enclosed vehicle, or otherwise subject it to temperature extremes. Excessive heat can deform or discolor the unit.
- To avoid possible breakdown, do not use the unit in a wet area, such as an area exposed to rain or other moisture.

## Maintenance

- For everyday cleaning wipe the unit with a soft, dry cloth or one that has been slightly dampened with water. To remove stubborn dirt, use a cloth impregnated with a mild, non-abrasive detergent. Afterwards, be sure to wipe the unit thoroughly with a soft, dry cloth.
- Never use benzine, thinners, alcohol or solvents of any kind, to avoid the possibility of discoloration and/or deformation.

## Additional Precautions

- Use a reasonable amount of care when using the unit's buttons, sliders, or other controls; and when using its jacks and connectors. Rough handling can lead to malfunctions.

- Never strike or apply strong pressure to the display.
- When connecting / disconnecting all cables, grasp the connector itself—never pull on the cable. This way you will avoid causing shorts, or damage to the cable's internal elements.
- To avoid disturbing your neighbors, try to keep the unit's volume at reasonable levels. You may prefer to use headphones, so you do not need to be concerned about those around you (especially when it is late at night).
- This instrument is designed to minimize the extraneous sounds produced when it's played. However, since sound vibrations can be transmitted through floors and walls to a greater degree than expected, take care not to allow these sounds to become a nuisance to neighbors, especially when performing at night and when using headphones.
- When you need to transport the unit, package it in the box (including padding) that it came in, if possible. Otherwise, you will need to use equivalent packaging materials.
- Use the included cable or a cable from Roland to make the connection. If using some other make of connection cable, please note the following precautions.
  - Some connection cables contain resistors. Do not use cables that incorporate resistors for connecting to this unit. Since the sensitivity of the pad will be diminished, the sound may become extremely soft or even inaudible. For information on cable specifications, contact the manufacturer of the cable.
- The hoop's rubber portion is an expendable item, whose performance deteriorates with extended use. Continued use of this rubber component beyond its useful service life may result in malfunction or damage to the hoop. If this occurs, replace the hoop and insert.

For more on replacing the hoop rubber, consult with your retailer, the nearest Roland Service Center, or an authorized Roland distributor, as listed on the "Information" page.
- Do not apply excessive force to the sensor located below the center of the head. Doing so can interfere with accurate detection, and may damage it.
- Due to the nature of the materials used in the sensor, changes in room temperature may affect the sensitivity of the sensor.
- Be sure to adjust the head tension before using the RP-2. Striking the pad while the head is loosened may damage the sensor and head.
- The explanations in this manual include illustrations that depict what should typically be shown by the display. Note, however, that your unit may incorporate a newer, enhanced version of the system (e.g., includes newer sounds), so what you actually see in the display may not always match what appears in the manual.

# Table of Contents

<b>USING THE UNIT SAFELY .....</b>	<b>2</b>
<b>IMPORTANT NOTES.....</b>	<b>4</b>
<b>Table of Contents .....</b>	<b>5</b>
<b>Introduction.....</b>	<b>6</b>
Main Features.....	6
What's in the Package.....	6
<b>Panel Descriptions .....</b>	<b>7</b>
RHYTHM COACH (RM-2).....	7
V-PRACTICE PAD (RP-2).....	8
<b>Preparations.....</b>	<b>9</b>
<b>Operation of the RM-2.....</b>	<b>13</b>
Sounding the Metronome.....	13
Setting the Metronome to Play in Time with the Tapped Tempo (Tap Tempo) ...	13
Changing the Metronome Settings .....	13
Parameter List .....	13
Setting the Sound and the Sensitivity.....	15
Connecting Two RP-2 Pads.....	15
Parameter List .....	16
COACH Mode.....	18
Parameter List .....	18
Accuracy and Timing Exercises.....	18
Endurance and Stamina Exercises.....	20
Restoring the Factory Settings (Factory Reset).....	22
If an Error Message Appears.....	22
<b>Advanced Use.....</b>	<b>23</b>
Connecting Pads Other Than the RP-2 .....	23
Connecting the Pads.....	23
Connecting Pads Capable of Playing Rim Shots.....	24
How to Set the Trigger Parameters.....	26
Parameter List .....	27
<b>Specifications .....</b>	<b>31</b>
<b>Index .....</b>	<b>32</b>

# Introduction

Thank you, and congratulations on your choice of this Roland product.

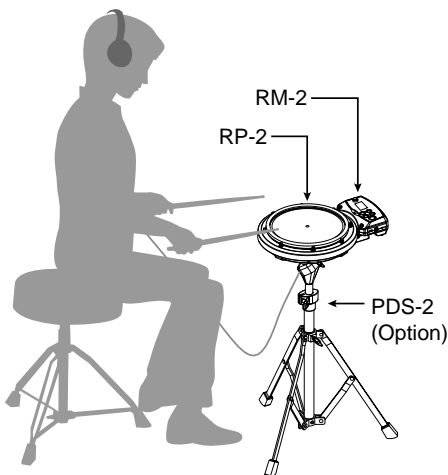
This Owner's Manual contains information and instructions concerning both the RHYTHM COACH (RM-2) and the V-PRACTICE PAD (RP-2). If you have purchased only the RHYTHM COACH (RM-2), then refer only to the relevant portions.

## Main Features

---

### RHYTHM COACH (RM-2)

- LED indicators for the metronome, that essential practice tool. Now you can follow the beat visually as well for even better practices.
- Includes carefully selected sounds for rich expressions.
- Features an enjoyable "Intelligent Coach" function, which can help you to progress more effectively (p. 18).
- Simple to operate and designed for easy viewing, the unit is housed in a compact body that is portable and convenient.
- Can used to practice along with sounds on CDs and MDs (Mix In).
- Best used with a V-PRACTICE PAD (RP-2).
- Tempos can be changed not only from the RM-2, but by striking the pads as well (p. 13).
- Compatible with PD-80R/120 rim sensors, allowing you to play rim shots (p. 24).
- If you use both trigger inputs, you can practice using two pads you've connected. Or, you can get in some practice on the kick drum by connecting a KD-7 (p. 23).
- Offers extended battery-powered operation. An AC adaptor (sold separately) can also be used.



### V-PRACTICE PAD (RP-2)

- Uses the same type of mesh head as used with Roland's V-Drums Series. Superior feel and quiet striking make it an excellent choice for practice.
- The head can be adjusted to the desired tension.
- A special pad stand (PDS-2) (sold separately) that allows you to change the height and angle as desired. Whether standing or seated, this is perfect for extended practice sessions.

## What's in the Package

---

RHYTHM COACH (RM-2)  
V-PRACTICE PAD (RP-2) \*1  
Owner's manual (this document)  
Connection cable \*1  
0.2 m or 7 - 7/8 inches (monaural)  
Tuning key \*1  
RM-2/RP-2 mounting screw x 2 \*2  
Dry battery (LR6 (AA) type) x 4

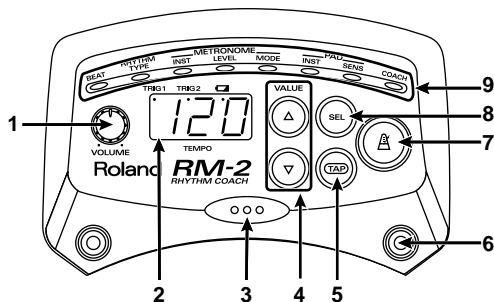
\* 1 Not included with the purchase of the RHYTHM COACH (RM-2) alone.

\* 2 When the RHYTHM COACH (RM-2) and the V-PRACTICE PAD (RP-2) are purchased as a set, they are already attached together with the screws.



# Panel Descriptions

## RHYTHM COACH (RM-2)



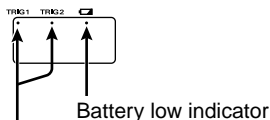
### 1. [VOLUME] knob

Adjusts the output volume from the HEADPHONES/OUTPUT jack.

### 2. Display

Displays the tempo and other information. Additionally, the Trigger 1 and 2 indicators flash when the corresponding pads connected to Trigger Input 1 and 2 are struck.

The BATTERY LOW indicator flashes when the battery power runs low (p. 9).



Trigger 1, 2 indicators

### 3. Buzzer

If nothing is connected to the HEADPHONES/OUTPUT jack, the metronome's beep sound is played from here. Pad sounds are not played.

### 4. Value [▲] [▼] button

Use these buttons to change the values of each parameter.

To increase the value rapidly, first hold down [▲], then hold down [▼]. To decrease the value rapidly, first hold down [▼], then hold down [▲].

(When the RM-2 displays the metronome's tempo, the value changes in a stepped manner, similar to that of a standard metronome.)

### 5. [TAP] button

Adjusts the metronome tempo to match the timing used to tap the button or strike the pad (p. 13).

### 6. Holes for mounting the RP-2.

### 7. [METRONOME] button

Starts and stops the metronome.

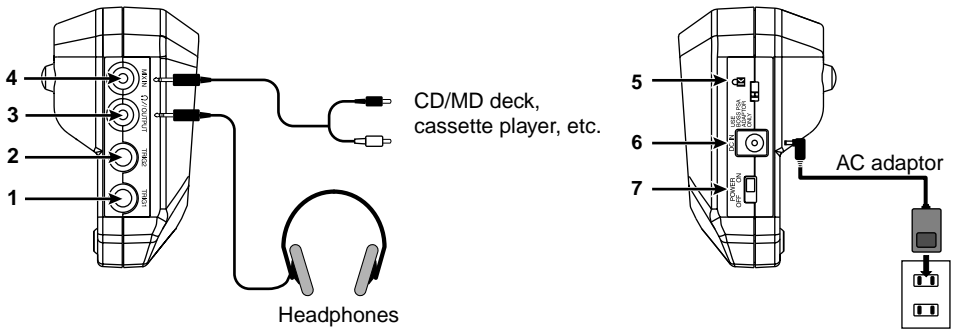
### 8. [SELECT] button

Provides for selection among the eight parameters shown along the top of the RM-2. Press the [SELECT] button to cycle through the available choices, from BEAT through COACH, and then return to the normal tempo screen. If you hold down the [SELECT] button while you press the [▼] button, you can select parameters in the reverse order.

### 9. Parameter Indicators

These function as metronome indicators.

Additionally, the indicator for the selected parameter flashes.



1. **Trigger Input 1**
2. **Trigger Input 2**

Use these inputs to connect pads.

\* You can connect various pads other than RP-2 to the RM-2, and also connect two pads at the same time using the Trigger Input 1 and 2. Refer to "Connecting Two RP-2 Pads" (p. 15) to use two RP-2, and "Connecting Pads Other Than the RP-2" (p. 23) to use other pads.

3. **HEADPHONES/OUTPUT jack**

Connect this to your headphones, amp, or audio system.

\* The RM-2 outputs sounds in monaural.

4. **MIX IN jack**

Connect this to your CD, MD, or other similar device, and you can play along with them.

5. **Security Slot (  )**

<http://www.kensington.com/>

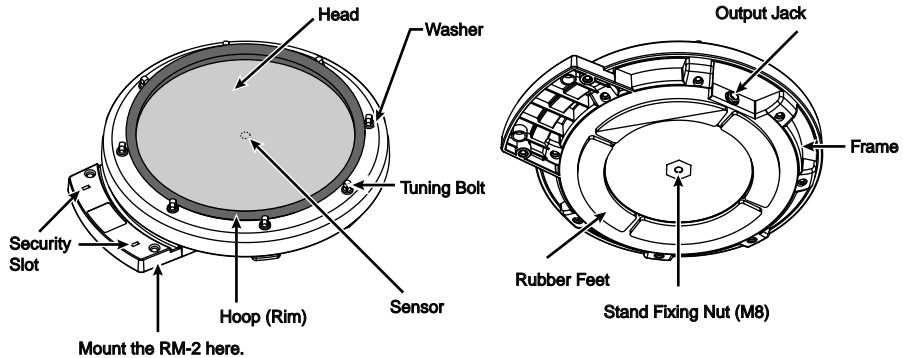
6. **DC IN jack**

Connect the AC Adaptor (Optional) here (p. 9).

7. **POWER switch**

This switch turns the power on/off (p. 10).

## V-PRACTICE PAD (RP-2)



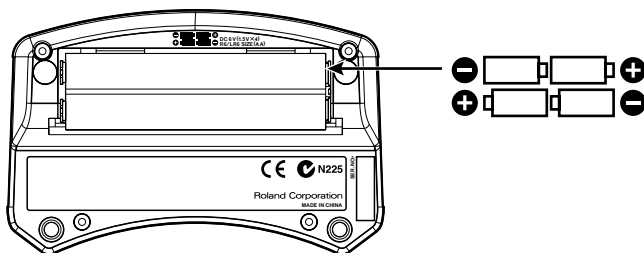
# Preparations



- To prevent malfunction and/or damage to speakers or other devices, always turn down the volume, and turn off the power on all devices before making any connections.
- When turning the unit upside-down, get a bunch of newspapers or magazines, and place them under the four corners or at both ends to prevent damage to the buttons and controls. Also, you should try to orient the unit so no buttons or controls get damaged.
- When turning the unit upside-down, handle with care to avoid dropping it, or allowing it to fall or tip over.

## Loading the Batteries

Confirm that the power to the unit is turned off, and the “+” and “-” ends of the included batteries are oriented correctly.



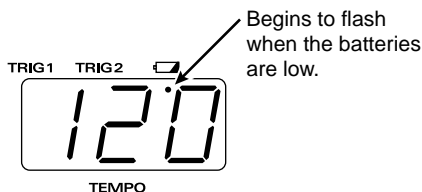
When changing the batteries, replace only with four size AA alkaline batteries. Do not mix new batteries with old ones.



With alkaline batteries, you get approximately ten hours of continuous operation at normal temperatures (may vary according to usage conditions).

## When It's Time to Change the Batteries

The Battery Low indicator begins to flash when the battery power drops. Insufficient battery power degrades the sound quality and cause unstable operation. Replace the batteries as soon as possible.



## Connecting the AC Adaptor

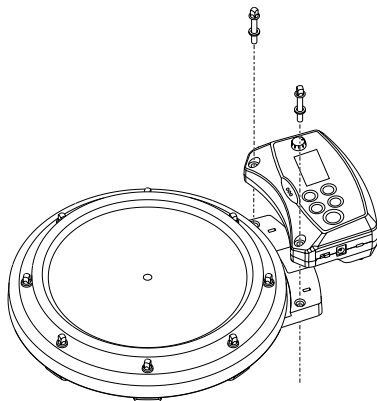
The BOSS PSA-series AC adaptor (sold separately) can be used to run the RM-2 from a household electrical outlet.



Use only the BOSS PSA-series AC adaptor. Other adaptors may cause faulty operation or damage to the RM-2 and must never be used.

## Mounting the Sound Module on the Pad

1. Use the screws provided to mount the sound module (the RM-2) on the pad (the RP-2) as shown below.



If the RM-2 and RP-2 are purchased as a set, they are already attached together with the screws.

2. Use the included cable to connect the RP-2's OUTPUT jack to the RM-2's Trigger Input 1.

When you strike the pad, the Trigger 1 indicator flashes, indicating the pad is played.



Using a connection cable that contains a resistor can cause the sound level to be low.

Use a connection cable that does not contain a resistor.

3. When connecting two RP-2 pads, connect the OUTPUT jack of the second RP-2 to the RM-2's Trigger Input 2 (p. 15).

When you strike the pad, the Trigger 2 indicator flashes, indicating the pad is played.

## Turning the Power On and Off



- Once the connections have been completed, turn on power to your various devices in the order specified. By turning on devices in the wrong order, you risk causing malfunction and/or damage to speakers and other devices.

- Be sure to connect your headphone after turning on the power. Turning on the device in the wrong order can cause malfunction and/or damage to headphones and other devices.

- Always make sure to have the volume level turned down before switching on power. Even with the volume all the way down, you may still hear some sound when the power is switched on, but this is normal, and does not indicate a malfunction.

1. Turn the [VOLUME] knob completely to the left to lower the volume to the minimum level.
2. Turn down the volume control on the connected amp or audio system.
3. Turn on the [POWER] switch.
4. Connect the headphone or amp.
5. Turn on the power of the connected amp or audio system.
6. Listen to the sound while striking the pad, and gradually rotate the [VOLUME] knob to adjust the volume level.

When connecting to an amp or audio system, first adjust the volume to an appropriate level.

When turning off the power:

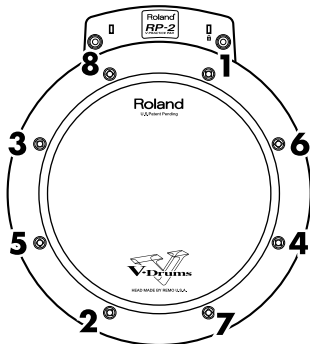
1. Completely turn down the volume of the RM-2 and any connected external devices.
2. Turn off the power to all external devices.
3. Turn off the RM-2.

## Adjusting the Head Tension

When adjusting, use the included tuning key.

\* *Striking the pad with a loose head may damage the sensor. Furthermore, if you use the pad without it being properly adjusted, you would likely to experience such problems as the following.*

- Sometimes it does not sound (uneven volume).
- The volume is too low (reduced sensitivity).



While continuing to check the feel and response, use the tuning key to adjust all eight tuning bolts until the tension is properly adjusted. Always tighten the tuning bolts in the order shown in the figure.



- The proper tension is achieved when the feel and response of the head as you strike the pad is about the same as that of an acoustic drum.
- Head tension may change with extended use of the pad. Make adjustments as needed.
- On the V-PRACTICE PAD (RP-2), adjusting the head tension affects only the head response, and does not change the pitch of the sound, as it would on an acoustic drum.



Do not tighten any one tuning bolt too firmly all at once. Doing so keeps the head from stretching evenly throughout, which can cause malfunction.

## Replacing the Head

The head is an expendable item, whose performance deteriorates with extended use. If the head has torn out or remains slack even after proper adjustment, then replace the head.

### Replacement heads (sold separately)

MH-8 Mesh Head

### Replacing the Head

When replacing, use the included tuning key.

1. Remove all tuning bolts and washers.

Go around and gradually loosen each one in order (by turning it counterclockwise).



Be careful not to lose the tuning bolts and washers that you removed.

2. Remove the hoop.
3. Remove the old head.
4. Place the new head on the frame.
5. Place the hoop onto the head.
6. Pass the tuning bolts through the washers, then attach them to the hoop and frame.
7. Tighten all eight tuning bolts until they lightly contact the hoop.
8. Next, adjust the tension of the head. Refer to "Adjusting the Head Tension" (p. 11).

# Operation of the RM-2

## Sounding the Metronome

To play the metronome sound, press the [METRONOME] button.

Press the [▲] or [▼] button to adjust the tempo. You can adjust the tempo between 10 and 300 BPM.

### ■ Setting the Metronome to Play in Time with the Tapped Tempo (Tap Tempo)

You can adjust the metronome tempo by tapping the [TAP] button or striking the pad in time with a song's tempo.

1. Press the [TAP] button.

The tempo value flashes in the display.

2. Press the [TAP] button or strike a connected pad several times in time with the song's tempo.

The same sound as that selected for the metronome will sound.

The metronome's tempo will adopt the timing you've used while tapping the button or striking the pad.

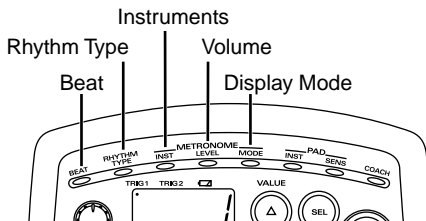
3. When you decide that the tempo is correct, either hold down the [TAP] button for at least two seconds, or press the [SELECT] or [METRONOME] button to set the value. If you press the [METRONOME] button, the metronome starts.



If you tap the pad while the metronome is on, you can adjust the tempo while monitoring the resulting change.

### ■ Changing the Metronome Settings

You can change the metronome beat, rhythm type, sound, volume, and display.



1. Press the [SELECT] button to select the parameter to be changed.



Hold down the [SELECT] button and press the [▼] button to have selections come up in the reverse order.

2. Press the [▲] or [▼] button to set the values for each parameter.

For more detailed information on each individual parameter, refer to the Parameter List that follows.

3. Press the [SELECT] button until you return to the normal tempo screen.



You can also return to the normal tempo screen by holding down the [SELECT] button for at least two seconds.

### ■ Parameter List











#### BEAT

Changes the beat of the metronome.

0-13, 2-3, 3-2, 3-4, 4-3

## RHYTHM TYPE

This allows you to choose the type of rhythm the metronome plays.

1	Counts at the top of the measure.	16	 (16th note)
2	 (half note)	16 <sup>□</sup>	 (16th note)
4	 (quarter note)	16 <sup>□</sup>	 (16th note)
8	 (8th note)	6	 (16th-note triplets)
8 <sup>□</sup>	 (8th note)	□ 3 2	3 - 2 Son Clave
3	 (8th-note triplet)	□ 2 3	2 - 3 Son Clave
		□ 3 2	3 - 2 Rumba Clave
3 <sup>□</sup>	 (8th-note triplet)	□ 2 3	2 - 3 Rumba Clave

## METRONOME INST

Changes the metronome sound.

INST No.	Instruments
1	Traditional metronome
2	Electric beep
3	Simple electric
4	Unique sweep
5	Zap
6	Hi-hat
7	Cowbell
8	Shaker
9	Claves
10	Sticks
11	Voice

\* If you set the tempo too fast, the metronome sound may occasionally drop out.

A beep tone is played when nothing is connected to the HEADPHONE/OUTPUT jack. You can select beep sound from 1-7.



## METRONOME LEVEL

Adjusts the metronome's volume level.

**off, 1–8**

**off, 1–2** (Adjusts the volume of the metronome sound that is heard when nothing is connected to the HEADPHONE/OUTPUT jack.)

## METRONOME MODE

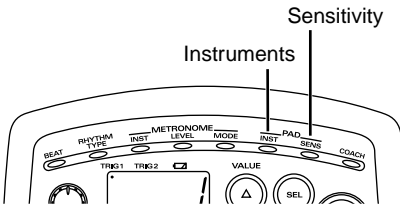
Changes the metronome display.

**off, 1–7**

# Setting the Sound and the Sensitivity

The RM-2 features 28 different drum sounds, which can add rich expression to your performances.

Additionally, you can fine-tune the sensitivity of the connected pads will have, allowing you to achieve just the right feel and response.



1. Press the [SELECT] button to select the parameter to be changed.

**MEMO** Hold down the [SELECT] button and press the [▼] button to have selections come up in the reverse order.

2. Press the [▲] or [▼] button to set the values for the “PAD INST” and the “PAD SENS” parameters.

For more detailed information on each individual parameter, refer to the Parameter List that follows.

3. Press the [SELECT] button until you return to the normal tempo screen.

**MEMO** You can also return to the normal tempo screen by holding down the [SELECT] button for at least two seconds.

## ■ Connecting Two RP-2 Pads

With two RP-2 pads connected to Trigger Input 1 and 2, you can make different sound settings for each pad.

1. Press the [SELECT] button to select “PAD INST.”
2. Strike the pad connected to Trigger Input 1.  
When you strike the pad, the Trigger 1 indicator flashes, indicating the pad being set.
3. Press the [▲] or [▼] button to set the values for the “PAD INST.”
4. Change the “PAD SENS” setting.
5. Now strike the pad connected to Trigger Input 2.  
When you strike the pad, the Trigger 2 indicator flashes, indicating the pad being set.
6. Change the “PAD INST” and “PAD SENS” settings.

## ■ Parameter List

### PAD INST

Select the sound to be played when you strike the pad.

	Instruments	Description
1	Maple snare (14" x 6-1/2")	
2	Steel snare (14" x 5-1/2")	
3	Brass snare (14" x 5-1/2") *1	
4	Brass snare rim (14" x 5-1/2") *1	soft: same #3 inst / hard: rim shot
5	Maple piccolo snare (14" x 3-1/2") *2	
6	Maple piccolo snare rim (14" x 3-1/2") *2	soft: same #5 inst / hard: rim shot
7	Brass piccolo snare (14" x 3-1/2")	
8	13 inch snare	
9	Deep shell snare	
10	Marching snare *3	
11	Marching snare rim *3	soft: side stick / hard: rim shot
12	Marching tenor drum	
13	Hi tom-tom (10")	
14	Mid tom-tom (12")	
15	Lo tom-tom (14")	
16	Marching quad-tom 1 (8")	
17	Marching quad-tom 2 (10")	
18	Marching quad-tom 3 (12")	
19	Marching quad-tom 4 (13")	
20	Bass drum (22")	
21	Marching bass drum 1 (18")	
22	Marching bass drum 2 (24")	
23	Hi timbale (rim shot)	
24	Lo timbale	
25	Cowbell	soft: muffled / hard: open shot
26	Claves	
27	Practice board 1	Clear, well-defined sounds good for improving your stick technique.
28	Practice board 2	The sound changes when you strike the pad strongly. Good for practicing the use of accents.

\*1, 2, 3

Use two sounds marked with the same footnote number (3 and 4, 5 and 6, 10 and 11) when using a rim-shot capable pad (PD-80R/120). For more detailed information, refer to "Connecting Pads Capable of Playing Rim Shots" (p. 24). The optimum effect cannot be achieved if a pad that is not capable of playing rim shots is used.

## PAD SENS

### 1-16

Adjust the Sensitivity of the pad to regulate the pad response. Higher settings result in higher sensitivity, so that the pad will produce a loud volume even when struck softly.



When you strike the pad, the strength with which the pad is struck (velocity) is shown in the display on a six-level scale.

Set the velocity at a value of 127 when you strike the pad most forcefully.

	Strength of Striking	Velocity
	Hard	127
		100-126
		75-99
		50-74
		25-49
	Soft	1-24

## COACH Mode

The RM-2's Coach mode is a unique set of exercise modes developed for maximizing the practice experience. These modes are specifically designed to help build speed, accuracy and stamina, as well as develop better timing skills. Throughout the Coach modes, you will discover that many of them have programmable parameters. This is to provide a wide range of practicing levels to accommodate a wide range of practicing abilities.

1. Press the [SELECT] button until "COACH" is flashing.

The display shows *Coach* (Coach), and the RM-2 enters into the Coach mode.

2. Use the [▲] or [▼] button until "rhy" is displayed.
3. Push the [METRONOME] button to begin the exercise.



- Selecting the Coach mode while the Metronome is working stops the metronome.
- If you press the [SELECT] button while in the Coach mode, the Coach mode is exited.



In Coach mode, you can press the [TAP] button to change the tempo before pressing the [METRONOME] button to start the exercise. Either strike the pad at the desired tempo, or adjust the tempo using the [▲] or [▼] button.

### Parameter List

<i>rhy</i>	Rhythmic Notes	Accuracy and Timing Exercise (4 types)
<i>tch</i>	Time Check	
<i>qct</i>	Quiet Count	
<i>spd</i>	Speed Check	
<i>Gu</i>	Gradual Up	Endurance and Stamina Exercise (6 types)
<i>Gd</i>	Gradual Down	
<i>Gud</i>	Gradual Up/Down	
<i>Su</i>	Step Up	
<i>Sd</i>	Step Down	
<i>Sud</i>	Step Up/Down	
<i>t 1 - t60</i>	Timer	(8 types)

### Accuracy and Timing Exercises

#### Rhythmic Notes (*rhy*)

Rhythmic Notes serves as an excellent warm up exercise as well as a teaching exercise for learning rhythmic note values. In this mode, the metronome plays through a series of note intervals or beat divisions. Each note interval or beat division is played for 2 measures before moving on to the next interval level. The exercise starts with half notes, graduating through beat division intervals up to 16th-note triplets, then graduating back down to half notes.

#### Start



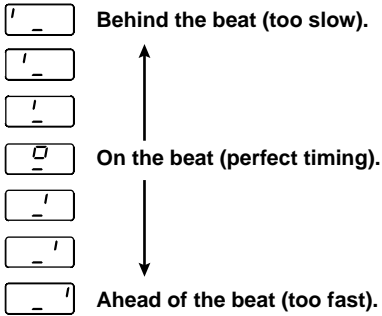
1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until "rhy" is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin the exercise.



You can change tempo during the exercise using the [▲] or [▼] button.

## Time Check ( *tch* )

Time Check mode is designed to help develop timing skills with the goal of playing exactly with the beat of the metronome. The beats played on the pad are measured against the timing of the metronome, and the result is displayed.



1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “ *tch* ” is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin the exercise.

**MEMO** You can change tempo during the exercise using the [▲] or [▼] button.

## Quiet Count ( *qct* )

Quiet Count mode is a timing exercise designed to develop and learn “internal” timing. In this mode, the metronome will play at the set volume level for the first eight measures then play the second eight measures at a reduced volume. The eight measure cycle of loud and soft counts will continue until stopped.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “ *qct* ” is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin the exercise.

**MEMO** You can change tempo during the exercise using the [▲] or [▼] button.

## Speed Check ( *spd* )

Speed Check mode is very similar to the Time Check mode in that the goal is to play exactly in time with the metronome. With Speed Check, when a rhythm is played for eight measures with the correct timing of the metronome, the RM-2 will acknowledge the performance and advance 5 beats per minute (5 BPM) faster. This will continue until the metronome’s maximum tempo is achieved.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “ *spd* ” is displayed.
2. Once the [METRONOME] button is pressed, there will be a two measure count in before Speed Check begins.

**MEMO** If you’ve played it with the correct timing, the indication in the display will flash four times, then the BPM will be increased by five. If you were unsuccessful, the display will flash only one time, and the unit will remain at the same tempo.

## ■ Endurance and Stamina Exercises

### Gradual Up ( $\square \cup$ )

Gradual Up mode is specifically designed to build speed in a short period of time. In this mode, the metronome's tempo will increase by one beat per minute (1 BPM) after every two beats. This will continue until the metronome's maximum tempo is achieved.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “  $\square \cup$  ” is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin.



After starting the metronome, you can set the desired maximum tempo by pushing the [▼] button when it reaches the desired tempo. To clear the maximum tempo, press the [▲] button (initial value: 300).

### Gradual Down ( $\square \cap$ )

Gradual Down mode is designed to begin at a fast pace and gradually slow. In this mode, the metronome's tempo will decrease by one beat per minute (1 BPM) after every two beats. This will continue until the metronome's minimum tempo is achieved.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “  $\square \cap$  ” is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin.



After starting the metronome, you can set the desired minimum tempo by pushing the [▲] button when it reaches the desired tempo. To clear the minimum tempo, press the [▼] button (initial value: 10).

### Gradual Up/Down ( $\square \cup \cap$ )

Gradual Up/Down mode is designed to increase playing stamina by slowly increasing and then decreasing the speed of the metronome. In this mode, the metronome's tempo will increase by one beat per minute (1 BPM) after every two beats until it reaches the metronome's maximum tempo. After the maximum tempo is achieved, the metronome's tempo will decrease by one beat per minute (1 BPM) after every two beats. This will continue until it reaches back to the metronome's starting tempo and then repeat the process.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “  $\square \cup \cap$  ” is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin.



After starting the metronome, you can set the desired maximum tempo by pushing the [▼] button when it reaches the desired tempo. To clear the maximum tempo, press the [▲] button (initial value: 300).

### Step Up ( $\square \cup$ )

Step Up mode is specifically designed to build speed and endurance at the same time. In this mode, the metronome's tempo will increase by five beats per minute (5 BPM) after every eight measures. This will continue until the metronome's maximum tempo is achieved.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “  $\square \cup$  ” is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin.



After starting the metronome, you can set the desired maximum tempo by pushing the [▼] button when it reaches the desired tempo. To clear the maximum tempo, press the [▲] button (initial value: 300).

## Step Down ( 5 d )

Step Down mode is designed to begin at a fast pace and gradually slow thus building stamina. In this mode, the metronome's tempo will decrease by five beats per minute (5 BPM) after every eight measures. This will continue until the metronome's minimum tempo is achieved.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “ 5 d “ is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin.



After starting the metronome, you can set the desired minimum tempo by pushing the [▲] button when it reaches the desired tempo. To clear the minimum tempo, press the [▼] button (initial value: 10).

## Step Up/Down ( 5 u d )

Step Up/Down mode is designed to increase playing endurance by slowly increasing and decreasing the speed of the metronome. In this mode, the metronome's tempo will increase by five beats per minute (5 BPM) after every eight measures until it reaches the metronome's maximum tempo. After the maximum tempo is achieved, the metronome's tempo will decrease by five beats per minute (5 BPM) after every eight measures. This will continue until it reaches back to the metronome's starting tempo and then repeat the process.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button until “ 5 u d “ is displayed.
2. Push the [METRONOME] button to begin.



After starting the metronome, you can set the desired maximum tempo by pushing the [▼] button when it reaches the desired tempo. To clear the maximum tempo, press the [▲] button (initial value: 300).

## Timer ( t 1 - t 60 )

The timer is a simple mode where an interval of time is set to play. Although simple, it's flexible nature allows the timer's capabilities to provide a variety of useful practicing exercises. It can build speed by playing very quickly in a short amount of time, or build endurance by playing for a long period of time.

1. In the Coach mode, use the [▲] or [▼] button to select one of the timing options.

t 1 : 1 minute	t 10 : 10 minutes
t 2 : 2 minutes	t 15 : 15 minutes
t 3 : 3 minutes	t 30 : 30 minutes
t 5 : 5 minutes	t 60 : 60 minutes

2. Push the [METRONOME] button to begin.
3. The last minute will display a 60 second count down followed by an alarm and flashing lights to signal the end of the timing period.



- While the “Timer“ is working, you cannot try any other Coach mode exercise.
- You can use the [SELECT] button to change things such as the “BEAT“ and “RHYTHM TYPE.“
- If you stop the metronome in any mode other than Coach, the timer will continue working. In that case, the [COACH] indicator flashes, indicating that the timer is still working. If you want to stop the timer, press the [METRONOME] button in the Coach mode.

---

## Restoring the Factory Settings (Factory Reset)

---

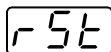
This restores the settings stored in the RM-2 to the original factory settings.



**NOTE** This operation deletes all of the settings that have been stored on the RM-2.

1. While simultaneously holding down [▲], [SELECT], and the [METRONOME] button, turn on the power.

The "COACH" indicator will flash and the display will show the following.



2. Press the [METRONOME] button to have the Factory Reset be carried out.  
Should you decide that you don't want to proceed with the Factory Reset, turn the power off.

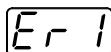
---

## If an Error Message Appears

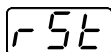
---

This section lists the different error messages that may appear, along with their meanings and measures to resolve the problems described.

**Symptom 1: If all of the RM-2's parameter indicators are flashing and the following appears in the display, it could likely mean that the internal memory has been corrupted.**



1. When you press the [METRONOME] button, the following appears, and the unit will be in a state where a Factory Reset can be performed.

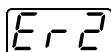


2. Press the [METRONOME] button once more to have a Factory Reset be performed.  
If this fails to solve the problem, consult your dealer, or the nearest Roland Service Center.



**NOTE** This operation deletes all of the settings that have been stored on the RM-2.

**Symptom 2: If all of the RM-2's parameter indicators are flashing and the following appears in the display, there may be a problem with the internal system. Consult your dealer or nearest Roland Service.**



\* Press the [METRONOME] button, and you can return to the normal tempo screen.



# Advanced Use

## Connecting Pads Other Than the RP-2

Not only can you connect the RP-2 to the RM-2, you can connect other Roland V-Drums Series pads as well. Depending on the trigger input settings, you may be able to connect two pads, or connect a single rim-capable pad. However, each pad has its own individual characteristics, so you may not be able to have a right pad sound merely by connecting it to the RM-2. When connecting a pad, you must first make adjustments (the trigger types) that are specific to the pad you've connected. This allows the pad to be recognized correctly.

	Trigger Input 1	Trigger Input 2
Two Pads	Head	Head
One Rim-Shot Capable Pad	Head/Rim	-

\* *Trigger Input 2 is disabled when a rim-capable pad is connected.*

### ■ Connecting the Pads

#### Connectable pads

RP-2, PD-80/100, PD-5/6/7/9, KD-7/80/120



If connecting a pad, such as the PD-80R or PD-120, that is capable of producing rim shots, refer to the next section, "Connecting Pads Capable of Playing Rim Shots" (p. 24).

1. Connect compatible pads to Trigger Input 1 or 2.
2. Hold down the [SELECT] button and turn on the power.  
The RM-2 is now in the mode in which the parameters can be set.
3. Press the [▲] or [▼] button to switch the Input Mode to  $H-2$ .

#### What is the Input Mode?

This is the mode in which you set what is to be connected to the Trigger Input. When connecting one or two normal pads, select  $H-2$ ; when connecting one pad that is capable of playing rim shots, select  $H-r$ .

The default setting for this is  $H-2$ , which allows two RP-2 pads to be connected.

4. Press the [SELECT] button.

Once  $LYP$  appears in the display, you can select the Trigger Type.

Select the type for the connected pad:  $RP2$  (RP-2),  $P80$  (PD-80/100),  $Pd$  (PD-5/6/7/9), or  $KD$  (KD-7/80/120).

When you strike a pad, the Trigger 1 or 2 indicator flashes, indicating the pad that is being set. After checking the indicator to determine that the selected pad is the one you want to set, make the trigger parameter settings.

The default setting for both Trigger Input 1 and 2 is  $RP2$ , the setting that allows two RP-2 pads to be connected.



For more detailed instructions on using the buttons, refer to "How to Set the Trigger Parameters" (p. 26).

### What is the trigger type?

Trigger types are groups of parameter settings whose values are adjusted specifically for each type of pad. When you select the trigger type for the connected pad, the various trigger parameters are as a result automatically set to the proper values, allowing you to play without further problems. You only make fine adjustments to individual parameters for your pad if you are unable to get the pad to play right even after selecting the appropriate trigger type.

5. If necessary, press the [SELECT] button to make fine adjustments to the trigger type parameters.



For more detailed information about each parameter refer to the "Parameter List" (p. 27).

6. Press the [METRONOME] button to return to the normal tempo screen.
7. Set the pad sound and sensitivity.

While referring to "Connecting Two RP-2 Pads" (p. 15) in "Setting the Sound You'll Hear and the Sensitivity," set the sound and sensitivity for the pad.

The RM-2 features kick drum sounds. With a KD-7/80/120 connected, you can then practice using the combination of kick drum and pad. When using a KD-7/80/120, use the "20: Bass drum (22)," "21: Marching bass drum 1 (18)," or "22: Marching bass drum 2 (24)" sound.

## ■ Connecting Pads Capable of Playing Rim Shots

### Connectable pads

PD-80R / 120



With the RM-2, you cannot play rim shots with the PD-7 or 9.

1. Connect a compatible pad to Trigger Input 1.

**Be sure to use a stereo cable to connect the pad.**



When connecting a pad that plays rim shots, always connect the cable to Trigger Input 1, and do not connect anything to Trigger Input 2. The RM-2 will stop functioning properly if a cable is connected to Trigger Input 2.

2. Hold down the [SELECT] button and turn on the power.  
The RM-2 is now in the mode in which the parameters can be set.
3. Press the [▲] or [▼] button to switch the Input Mode to *H-R*.



Input Mode (p. 23)

4. Press the [SELECT] button.

Once *TRP* appears in the display, you can then select the Trigger Type. Select the type for the pad being connected; *PR* (PD-80R) or *PI* (PD-120).



Trigger Type (p. 24)

- 
5. If necessary, press the [SELECT] button to make fine adjustments to the trigger type parameters.



For more detailed information about each parameter, refer to the "Parameter List."

For more detailed instructions on using the buttons, refer to "How to Set the Trigger Parameters" (p. 26).

6. Press the [METRONOME] button to return to the normal tempo screen.
7. To set the sound and sensitivity for the head, strike the pad head. The Trigger 1 indicator flashes.
8. Make the "PAD INST" and "PAD SENS" settings for the head.



When adjusting the rim sensitivity, follow the procedure starting at Step 5 to adjust the "Rim Sensitivity." "PAD SENS" is disabled in the rim settings.

9. To set the rim sound, strike the pad's rim portion. The Trigger 2 indicator flashes.
10. Make the "PAD INST" setting for the rim.




PAD INST No. 4, 6, and 11 are the most suitable sounds for rim shots (p. 16)

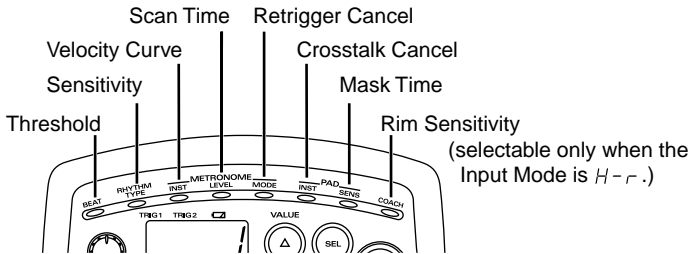
## ■ How to Set the Trigger Parameters

### Buttons

- **[SELECT] button**  
Selects the parameter (after the parameter name is displayed, the parameter's value or type appears).
- **Holding down the [SELECT] button and pressing [▼]**  
Takes you back one parameter.
- **Pressing [▲] or [▼]**  
Changes the parameter's value.
- **[METRONOME] button**  
Finalizes the settings that have been made, and takes you back to the screen displayed during normal use.

### Display

- **Display**  
Parameter names and values are indicated here.  
When making the settings for threshold, velocity curve, or scan time, the velocity value is shown (p. 28).
  - **Trigger 1/Trigger 2 Indicators**  
When a pad connected to Trigger Input 1 or 2 is struck, the corresponding trigger input is selected, and its indicator flashes. You can then change the trigger parameters for the pad corresponding to the lit indicator.
-  This is not displayed when *H-r* is selected for the input mode. However, during adjustment of the rim sensitivity, the Trigger 1 indicator lights up when you strike the head, and Trigger 2 when you strike the rim.
- **Eight Indicators (along the top of the RM-2)**  
The indicator for the selected parameter flashes (except for Input Mode and Trigger Type).



## Parameter List

Parameter	Value
Input Mode (displayed when turning on the power)	<i>H-2</i> Head x 2 <i>H-r</i> Head & Rim
<i>tYP</i> Trigger Type	<i>rP2</i> RP-2
	<i>PB0</i> PD-80/100
	<i>PBR</i> PD-80R
	<i>P12</i> PD-120
	<i>Pd</i> PD-5/6/7/9
	<i>tD</i> KD-7/80/120
<i>tHr</i> Threshold	0-15
<i>Sns</i> Sensitivity	1-16
<i>Cur</i> Velocity Curve	<i>Lnr</i> , <i>EP1</i> , <i>EP2</i> , <i>LG1</i> , <i>LG2</i> , <i>SPL</i> , <i>Ld1</i> , <i>Ld2</i>
<i>Scn</i> Scan Time	0-4.0 ms (adjustable in increments of 0.1 ms)
<i>rEG</i> Retrigger Cancel	1-16
<i>CRS</i> Crosstalk Cancel	<i>OFF</i> , 20-80 (adjustable in increments of 5)
<i>MSH</i> Mask Time	0-64 ms (adjustable in increments of 4 ms)
<i>r, n</i> Rim Sensitivity*	<i>OFF</i> , 1-20 (or —)

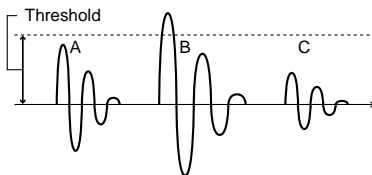
\* Rim sensitivity is active when *H-r* is selected as the input mode.

This is disabled (—) when anything other than *PBR* or *P12* is selected for the trigger type.

### Threshold

0-15

This setting allows a trigger signal to be received only when the pad is struck harder than a specified force. This can be used to prevent a pad from sounding in response to extraneous vibrations from another pad. In the following example, B will sound but A and C will not sound.



When set to a higher value, no sound is produced when the pad is struck lightly. Gradually raise the Threshold value while striking the pad. Check this and adjust accordingly. Repeat this process until you get the perfect setting for your playing style.

### Sensitivity

1-16

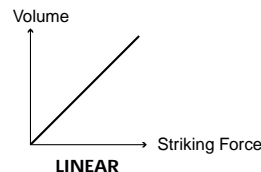
Same value as PAD SENS. (p. 17)

### Velocity Curve

This sets the way the volume changes in accordance with how strongly the pad is struck.

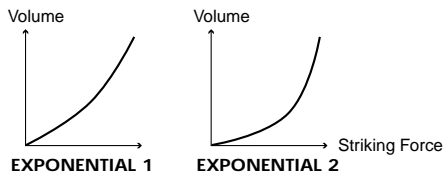
*Lnr* (Linear)

This is the normal setting. This produces the most natural correspondence between the strength of the strike and the change in volume.



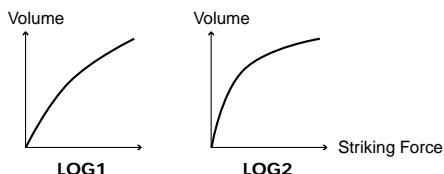
*EP1, EP2* (Exponential 1, Exponential 2)

Compared to Linear, a wider volume change will occur for stronger hits.



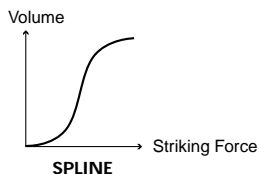
*LG1, LG2* (Log 1, Log 2)

Compared to Linear, wider volume change will occur for softer hits.



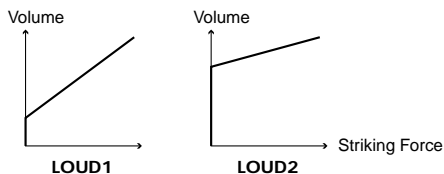
*SPL* (Spline)

Variation in striking force will produce extreme change.



*Ld1, Ld2* (Loud 1, Loud 2)

Variation in striking force will produce little change, and a constant volume will be maintained. When using drum triggers, these settings help maintain stable levels.

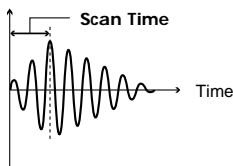


**Scan Time**

**0–4.0 ms (adjustable in increments of 0.1 ms)**

Since the rise time of the trigger signal waveform may differ slightly depending on the characteristics of each pad or acoustic drum trigger (drum pickup), you may notice that identical hits (velocity) may produce sound at different volumes. If this occurs, you can adjust the Scan Time so that your velocity of playing can be detected more precisely.

As the value is set higher, the time it takes for the sound to be played increases. Set this to as low a value as you can.



**Making the settings**

While repeatedly hitting the pad at a constant force, gradually raise the Scan Time value from 0 msec, until the resulting volume stabilizes at the loudest level. At this setting, try both soft and loud strikes, and make sure that the volume changes appropriately.



When you strike the pad, the strength with which the pad is struck (velocity) is shown in the display on a six-level scale.

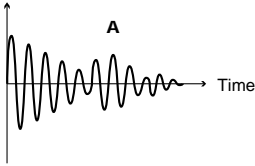
Set the velocity at a value of 127 when you strike the pad most forcefully.

Strength of Striking	Velocity
888	127
887	100–126
886	75–99
885	50–74
884	25–49
883	1–24

## Retrigger Cancel

1-16

Altered waveforms may cause inadvertent sounding at Point A in the following figure (This is called retrigger).



This occurs in particular at the decaying edge of the waveform. Retrigger Cancel detects such distortion in and prevents retriggering from occurring.

Although setting this to a high value prevents retriggering, it then becomes easy for sounds to be omitted when the drums played fast (roll etc.). Set this to the lowest value possible while still ensuring that there is no retriggering.



You can also eliminate this problem of retriggering with the Mask Time setting. Mask Time does not detect trigger signals if they occur within the specified amount of time after the previous trigger signal was received. Retrigger Cancel detects the attenuation of the trigger signal level, and triggers the sound after internally determining which trigger signals were actually generated when the head was struck, while weeding out the other false trigger signals that need not trigger a sound.

### Making the settings

While repeatedly striking the pad, raise the Retrigger Cancel value until retriggering no longer occurs.

## Crosstalk Cancel

OFF, 20-80 (adjustable in increments of 5)

When two pads are mounted on the same stand, the vibration produced by hitting one pad may trigger the sound from another pad unintentionally (This is called crosstalk.) You can avoid this problem by adjusting Crosstalk Cancel on the pad that is sounding inadvertently.

If the value is set too high, then when two pads are played simultaneously, the one that is struck less forcefully will not sound. So be careful and set this parameter to the minimum value required to prevent such crosstalk. With a setting of "OFF," crosstalk prevention does not function.



In some cases, you can prevent crosstalk between two pads you have connected by increasing the distance between the pads or by raising the Threshold value.



You cannot prevent crosstalk from pads connected to other drum sound modules. Try increasing the distance between such pads, or raise the Threshold.

### Making the settings

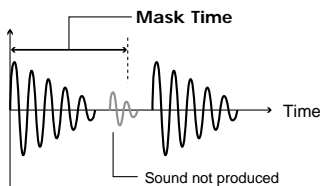
When hitting the pad connected to the Trigger Input 1, the pad connected to the Trigger Input 2 also sounds: Set the Crosstalk Cancel for the pad connected to the Trigger Input 2 while striking the pad connected to the Trigger Input 1. Striking the pad connected to the Trigger Input 1, raise the Crosstalk Cancel setting for the pad connected to the Trigger Input 2 from "OFF" until crosstalk no longer occurs. As this value is raised, the pad connected to the Trigger Input 1 will be less prone to receive crosstalk from the other pad.

## MASK TIME

### 0-64 ms (adjustable in increments of 4 ms)

On a kick pad, for example, if the beater bounces back and strikes the pad a second time immediately after the intended stroke—or, like with acoustic drums if you leave the bass drum beater against the head—it can cause a single strike to “double trigger” (two sounds instead of the intended one). The Mask Time setting helps to prevent such problems. Once a pad has been hit, any additional trigger signals occurring within the specified Mask Time (0-64 msec) will be ignored.

When set to a high value, it then becomes easy for sounds to be omitted when the kick is struck repeatedly in rapid succession. Set this to as low a value as you can.



If two or more sounds are being produced when you strike the head just once, then adjust Retrigger Cancel.

This can be adjusted only when the Input Mode is set to *H-r*. And the Trigger Type is set to something other than *PBR* or *P12*, a horizontal line (—) appears, and you cannot make the setting.



### Making the settings

While stepping on the pad being used for the kick, raise the Mask Time value until there is no more bouncing (sounds made by the rebounding of the beater).

## RIM SENSITIVITY

### OFF, 1-20

When a PD-80R or PD-120 is connected, you can then adjust the Rim Sensitivity.

Setting this to a higher value makes it easier to get rim sounds. When set to “OFF,” playing a rim shot produces the head instrument’s sound. Increasing the value excessively may cause the rim instrument to sound as well when the head is struck.



# Specifications

## RM-2: RHYTHM COACH

### Maximum polyphony

4 voices (including 1 voice for Metronome)

### Internal sounds

Pad inst: 28

Metronome inst: 11

### Panel control

Volume knob: 1

Function select buttons: 5

Power switch: 1

### Connectors

Trigger input jack: 2 (stereo 1/4 inch phone type x 1, 1/4 inch phone type x 1)

Phones/Output jack: 1 (stereo miniature phone type)

Mix in jack: 1 (miniature phone type)

AC adaptor jack

### Power supply

Dry battery (LR6 (AA) type x 4) or DC 9V

AC adaptor

\* Expected battery life under continuous use:

Alkaline: 10 hours

This figure will vary depending on the actual conditions of use.

### Current draw

150 mA

### Dimensions

148 (W) x 96 (D) x 62 (H) mm

5-7/8 (W) x 3-13/16 (D) x 2-1/2 (H) inches

### Weight

340 g / 12 oz (with batteries)

240 g / 9 oz (without batteries)

## RP-2: V-PRACTICE PAD

### Pad size

8 inches

### Trigger

1 (Head)

### Dimensions

264 (W) x 297 (D) x 60 (H) mm

10-7/16 (W) x 11-3/4 (D) x 2-3/8 (H) inches

### Weight

890 g

2 lbs

### Stand screw size

M8

## RM-2 and RP-2

### Dimensions (RM-2 and RP-2)

264 (W) x 350 (D) x 62 (H) mm

10-7/16 (W) x 13-13/16 (D) x 2-1/2 (H) inches

### Weight (including batteries)

1.2 kg

2 lbs 12 oz

### Accessories

Dry battery (LR6 (AA) type) x 4

RM-2/RP-2 mounting screw x 2 \*1

Connection cable (0.2 m or 7 - 7/8 inches) \*2

Tuning key \*2

Owner's manual

### Options

AC adaptor (PSA series)

Pad (RP-2, PD-80, PD-80R, PD-100, PD-120,

PD-5, PD-6, PD-7, PD-9)

Kick Trigger (KD-7, KD-80, KD-120)

Pad Stand (PDS-2)

Mesh Head (MH-8)

\*1 When the RHYTHM COACH (RM-2) and the V-PRACTICE PAD (RP-2) are purchased as a set, they are already attached together with the screws.

\*2 Not included with the purchase of the RHYTHM COACH (RM-2) alone.

\* Play rim shots by connecting a PD-80R or PD-120 dual trigger mesh V-pad to Trigger Input 1 and adjusting internal settings. (Note that this disables Trigger Input 2.)

\* Connect a PD-7 or PD-9 Pad to Trigger Input 1 or 2 for even more fun. (Note that this disables the Rim shots.)

\* In the interest of product improvement, the specifications and/or appearance of this unit are subject to change without prior notice.

# Index

<b>A</b>		
AC Adaptor .....	9	
<b>B</b>		
Batteries .....	9	
Battery Low indicator .....	7, 9	
BEAT .....	13	
Buzzer .....	7	
<b>C</b>		
Coach mode .....	18	
Connect (Pads for playing rim shots) .....	24	
Connect (Pads Other Than the RP-2) .....	23	
Connect (two RP-2 pads) .....	15	
Crosstalk Cancel .....	29	
<b>D</b>		
DC IN jack .....	8	
Display .....	7	
<b>E</b>		
Error Message .....	22	
Exponential 1, 2 .....	28	
<b>F</b>		
Factory Reset .....	22	
Frame .....	8	
<b>G</b>		
Gradual Down .....	20	
Gradual Up .....	20	
Gradual Up/Down .....	20	
<b>H</b>		
Head .....	8	
Head (Replace) .....	12	
Head Tension .....	11	
HEADPHONES/OUTPUT jack .....	8	
Hoop .....	8	
<b>I</b>		
Input Mode .....	23	
<b>L</b>		
Linear .....	27	
Log 1, 2 .....	28	
Loud 1, 2 .....	28	
<b>M</b>		
MASK TIME .....	30	
Metronome .....	13	
METRONOME button .....	7	
METRONOME INST .....	14	
METRONOME LEVEL .....	15	
MIX IN jack .....	8	
<b>O</b>		
Output Jack .....	8	
<b>P</b>		
PAD INST .....	16	
PAD SENS .....	17	
Parameter Indicators .....	7	
Power .....	10	
POWER switch .....	8	
<b>Q</b>		
Quiet Count .....	19	
<b>R</b>		
Retrigger Cancel .....	29	
RHYTHM TYPE .....	14	
Rhythmic Notes .....	18	
RIM SENSITIVITY .....	30	
Rubber Feet .....	8	
<b>S</b>		
Scan Time .....	28	
Security Slot .....	8	
SELECT button .....	7	
Sensitivity .....	27	
Sensor .....	8	
Speed Check .....	19	
Spline .....	28	
Stand Fixing Nut .....	8	
Step Down .....	21	
Step Up .....	20	
Step Up/Down .....	21	
<b>T</b>		
TAP button .....	7	
Tap Tempo .....	13	
Threshold .....	27	
Time Check .....	19	
Timer .....	21	
Trigger 1, 2 indicators .....	7	
Trigger Input 1, 2 .....	8	
Trigger Parameters .....	26	
Trigger Type .....	24	
Tuning Bolt .....	8	
<b>V</b>		
Value button .....	7	
Velocity Curve .....	27	
VOLUME knob .....	7	
<b>W</b>		
Washer .....	8	



This product complies with the requirements of European Directive 89/336/EEC.

For EU Countries

For the USA

## FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION RADIO FREQUENCY INTERFERENCE STATEMENT

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Unauthorized changes or modification to this system can void the users authority to operate this equipment.  
This equipment requires shielded interface cables in order to meet FCC class B Limit.

For Canada

### NOTICE

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

### AVIS

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

# Information

When you need repair service, call your nearest Roland Service Center or authorized Roland distributor in your country as shown below.

## AFRICA

### EGYPT

**Al Fanny Trading Office**  
P.O. Box 2904,  
El Horrieh Helopolos, Cairo,  
EGYPT  
TEL: (02) 4185531

### REUNION

**Maison FO - YAM Marcel**  
25 Rue Jules Hermain,  
Chaudron - BP79 97 491  
Ste Clotilde Cedex,  
REUNION ISLAND  
TEL: 28 29 16

### SOUTH AFRICA

**That Other Music Shop (PTY) Ltd.**

11 Melle St., Braamfontein,  
Johannesburg,  
Republic of SOUTH AFRICA

P.O. Box 32918, Braamfontein 2017  
Republic of SOUTH AFRICA  
TEL: (011) 403 4105

**Paul Bothner (PTY) Ltd.**  
17 Werdmuller Centre Claremont  
7700  
Republic of SOUTH AFRICA

P.O. Box 23032  
Claremont, Cape Town  
SOUTH AFRICA, 7735  
TEL: (021) 674 4030

## ASIA

### CHINA

**Beijing Xinghai Musical Instruments Co., Ltd.**  
6 Huangmunchang Chao Yang  
District, Beijing, CHINA  
TEL: (010) 6774 7491

**Shanghai Xingtong Acoustics Equipment Co. Ltd.**  
No. 1108, No. 2240 Pudong South Road  
Shanghai, CHINA  
TEL: (021) 6873 4123

### HONG KONG

**Tom Lee Music Co., Ltd. Service Division**  
22-32 Pui Shan Street, Tszuen  
Wan, New Territories,  
HONG KONG  
TEL: 2415 0911

### INDIA

**Rivera Digitec (India) Pvt. Ltd.**  
409, Nirman Kendra Mahalaxmi  
Flats Compound Off. Dr. Edwin  
Moses Road, Mumbai-400011,  
INDIA  
TEL: (022) 498 3079

### INDONESIA

**PT Citra IntiRama**  
Jl. Cikendang Timur No. 153-150  
Jakarta Pusat  
INDONESIA  
TEL: (021) 6324170

### KOREA

**Cosmos Corporation**  
1461-9, Seocho-Dong,  
Seocho Ku, Seoul, KOREA  
TEL: (02) 3486-8855

### MALAYSIA

**BENTLEY MUSIC SDN BHD**  
140 & 142, Jalan Bukit Bintang  
55100 Kuala Lumpur, MALAYSIA  
TEL: (03) 2144-3333

### PHILIPPINES

**G.A. Yupangco & Co. Inc.**  
339 Gil J. Puyat Avenue  
Makati, Metro Manila 1200,  
PHILIPPINES  
TEL: (02) 899 9801

### SINGAPORE

**Sweet Lee Company**  
150 Sims Drive,  
SINGAPORE 387381  
TEL: 846-3676

### CRISTOFORI MUSIC PTE LTD

BK 3014, Bedok Industrial Park E,  
#02-2148, SINGAPORE 489800  
TEL: 243 9555

### TAIWAN

**ROLAND TAIWAN ENTERPRISE CO., LTD.**  
Room 5, 9th. No. 112 Chung Shan  
N. Road Sec.2, Taipei, TAIWAN,  
R.O.C.  
TEL: (02) 2561 3339

### THAILAND

**Theera Music Co., Ltd.**  
309 Veng Nakhon Kasem, Soi 2,  
Bangkok 10100, THAILAND  
TEL: (02) 2248821

### VIETNAM

**Saigon Music**  
138 Tran Quang Khai St.,  
District 1  
Ho Chi Minh City  
VIETNAM  
TEL: (08) 844-4068

## AUSTRALIA/ NEW ZEALAND

### AUSTRALIA

**Roland Corporation Australia Pty., Ltd.**  
38 Campbell Avenue  
Dee Why West, NSW 2099  
AUSTRALIA  
TEL: (02) 9982 8266

### NEW ZEALAND

**Roland Corporation Ltd.**  
32 Shaddock Street, Mount Eden,  
Auckland, NEW ZEALAND  
TEL: (09) 3098 715

## CENTRAL/LATIN AMERICA

### ARGENTINA

**Instrumentos Musicales S.A.**  
Florida 656 2nd Floor  
Office Number 206A  
Buenos Aires  
ARGENTINA, CP1005  
TEL: (54-11) 4- 393-6057

### BRAZIL

**Roland Brasil Ltda**  
Rua San Jose, 780 Sala B  
Parque Industrial San Jose  
Cotia - Sao Paulo - SP, BRAZIL  
TEL: (011) 4615 5666

### COSTA RICA

**JUAN Bansbach Instrumentos Musicales**  
Ave. 1, Calle 11, Apartado 10237,  
San Jose, COSTA RICA  
TEL: (506)258-0211

### CHILE

**Comercial Fancy II S.A.**  
Avenida Rancagua 40330  
Providencia Santiago, CHILE  
TEL: 56-2-373-9100

### EL SALVADOR

**OMNI MUSIC**  
75 Avenida Notre Yy Alameda,  
Juan Pablo 2, No. 4010  
San Salvador, EL SALVADOR  
TEL: (503) 262-0788

### MEXICO

**Casa Volverkamp, s.a. de c.v.**  
Av. Toluca No. 323, Col. Olivar  
de los Padres 01780 Mexico D.F.,  
MEXICO  
TEL: (525) 668 04 80

### PANAMA

**SUPRO MUNDIAL, S.A.**  
Boulevard Andrews, Albrook,  
Panama City,  
REP. DE PANAMA  
TEL: (507) 315-0101

### PARAGUAY

**Distribuidora De Instrumentos Musicales**  
J.E. Olear y ESQ. Manduvira  
Edificio, El Dorado Planta Baja  
Asuncion PARAGUAY  
TEL: 595-21-492147

### PERU

**VIDEO Broadcast S.A.**  
Portinari 199 (ESQ. HALS),  
San Borja, Lima 41,  
REP. OF PERU  
TEL: 51-14-758226

### URUGUAY

**Todo Musica S.A.**  
Cuareim 1844, Montevideo,  
URUGUAY, CP11200  
TEL: 5982-924-2335

### VENEZUELA

**Musiland Digital C.A.**  
Av. Francisco de Miranda,  
Centro Parque de Cristal, Nivel  
C2 Local 20 Caracas  
VENEZUELA  
TEL: (02) 285 9218

## EUROPE

### AUSTRIA

**Roland Austria GES.M.B.H.**  
Siemensstrasse 4, P.O. Box 74,  
A-6063 RUM, AUSTRIA  
TEL: (0512) 26 44 260

### BELGIUM/HOLLAND/ LUXEMBOURG

**Roland Benelux N.V.**  
Houtstraat 3, B-2260, Oevel  
(Westerlo) BELGIUM  
TEL: (014) 575811

### DENMARK

**Roland Scandinavia A/S**  
Nordhavnsvej 7, Postbox 880,  
DK-2100 Copenhagen  
DENMARK  
TEL: (039)16 6200

### FRANCE

**Roland France SA**  
4, Rue Paul Henri SPAAK,  
Parc de l'Esplanade, F 77 462 St.  
Thibault, Lagny Cedex FRANCE  
TEL: 01 600 73 500

### FINLAND

**Roland Scandinavia As, Finland**  
Lautasaarentie 54 B  
Fin-00201 Helsinki, FINLAND  
TEL: (9) 682 4020

### GERMANY

**Roland Elektronische Musikinstrumente GmbH.**  
Cottstrasse 96, 22884 Norderstedt,  
GERMANY  
TEL: (040) 52 60090

### GREECE

**STOLLAS S.A.**  
**Music Sound Light**  
155, New National Road  
29422 Patras, GREECE  
TEL: 061-435400

### HUNGARY

**Intermusica Ltd.**  
Warehouse Area "DEPO" Pf.83  
H-2046 Torokbalint, HUNGARY  
TEL: (23) 511011

### IRELAND

**Roland Ireland**  
Audio House, Belmont Court,  
Donnybrook, Dublin 4,  
Republic of IRELAND  
TEL: (01) 2803501

### ITALY

**Roland Italy S. p. A.**  
Viale delle Industrie 8,  
20020 Arese, Milano, ITALY  
TEL: (02) 937-7830

### NORWAY

**Roland Scandinavia Avd. Kontor Norge**  
Lilleakerveien 2 Postboks 95  
Lilleaker N-0216 Oslo  
NORWAY  
TEL: 273 90074

### POLAND

**P. P. H. Brzostowicz**  
Ul. Gibraltarska 4  
PL-03664 Warszawa POLAND  
TEL: (022) 679 44 19

### PORTUGAL

**Tecnologias Musica e Audio,**  
Rua do Norteugal, S.A.  
Cais Das Pedras 8/9-1 Dto  
405-465 PORTO  
TEL: (022) 608 00 60

### ROMANIA

**FIBS LINES**  
Piata Libertatii 1,  
RO-4200 Gheorgheni  
TEL: (066) 164-609

### RUSSIA

**MuTeK**  
3 Bogatnikovaya Str., L.k.1  
107 564 Moscow, RUSSIA  
TEL: 095 169 5043

### SPAIN

**Roland Electronics de España, S. A.**  
Calle Bolivia 239, 08020  
Barcelona, SPAIN  
TEL: (93) 308 1000

### SWEDEN

**Roland Scandinavia A/S SWEDISH SALES OFFICE**  
Danvik Street 28, 2 tr.  
S-131 30 Nacka, SWEDEN  
TEL: (08) 702 0020

### SWITZERLAND

**Roland (Switzerland) AG Musitronic AS**  
Gerberstrasse 5, Postfach,  
F-1410 Liestal, SWITZERLAND  
TEL: (061) 921 1615

### UKRAINE

**TIC-TAC**  
Mira Str. 19/108  
P.O. Box 180  
225400 Munkachevo, UKRAINE  
TEL: (03313) 414-40

### UNITED KINGDOM

**ROLAND (U.K.) Ltd.**  
Atlantic Close, Swansee  
Enterprise Park, SWANSEE  
SA7 9PL  
UNITED KINGDOM  
TEL: (01792) 70139

## MIDDLE EAST

### BAHRAIN

**Moon Stores**  
Bab Al Bahrain Road,  
P.O. Box 20077  
State of BAHRAIN  
TEL: 211 005

### CYPRUS

**Redux Sound Equipment Ltd.**  
17 Dionysios St., P.O. Box 2046,  
U. S. A.  
Nicosia CYPRUS  
TEL: (02) 453 426

### IRAN

**MOCO, INC.**  
No. 41 Niko St. Dr. Shariyati Ave.  
Rohyorey Gerah Mirzadad  
Tehran, IRAN  
TEL: 285 4169

### ISRAEL

**Halilit P. Greenspoon & Sons Ltd.**  
8 Retzif Ha'alya Hashnya St.  
Tel-Aviv-Yafo ISRAEL  
TEL: (03) 6823666

### JORDAN

**AMMAN Trading Agency**  
Prince Mohammed St. P.O. Box  
825 Amman 11118 JORDAN  
TEL: (06) 4641200

### KUWAIT

**Easa Husain Al-Yousif**  
Abdullah Salem Street,  
Safat Kuwait  
TEL: 5719499

### LEBANON

**A. Chahine & Fils**  
P.O. Box 16-5857 Gergiz Zaidan St.  
Chahine Building, Achrafieh  
Beirut, LEBANON  
TEL: (01) 335799

### QATAR

**Al Emadi Co. (Badie Studio & Stores)**  
P.O. Box 62,  
DOHA QATAR  
TEL: 4423-554

### SAUDI ARABIA

**aDawlah Universal Electronics APL**  
Corniche Road, Aldossary Bldg.,  
1st Floor  
SAUDI ARABIA

P.O. Box 2154, Alkhorab 31952  
SAUDI ARABIA  
TEL: (03) 898 2081

### SYRIA

**Technical Light & Sound Center**  
Khaled Ibn Al Walid St.  
P.O. Box 13520  
Damascus - SYRIA  
TEL: (011) 2235 384

### TURKEY

**Barkat muzik aletleri ithalat ve ihracat Ltd.Sti**  
Siraselviler cad.Guney is hani 84-  
86/6, Taksim, Istanbul, TURKEY  
TEL: (0212) 2499324

### U. A. E.

**Zak Electronics & Musical Instruments Co. L.L.C.**  
Zabeel Road, Al Sheroq Bldg.,  
No. 14, Grand Floor DUBAI  
U.A.E.  
TEL: (04) 3360715

## NORTH AMERICA

### CANADA

**Roland Canada Music Ltd. (Head Office)**  
5480 Parkwood Way Richmond  
B. C., V6V 2M4 CANADA  
TEL: (604) 270 6626

### Roland Canada Music Ltd. (Toronto Office)

Unit 2, 109 Woodbine Downs  
Bldv, Etobicoke, ON  
M9W 6Y1 CANADA  
TEL: (416) 215 9707

### U. S. A.

**Roland Corporation U.S.**  
5100 S. Eastern Avenue  
Los Angeles, CA 90040-2938,  
U. S. A.  
TEL: (323) 890 3700

As of May 15, 2001 (Roland)